

NAPA システム インストール手順書

最終更新 2020 年 11 月 16 日

目次

1.	はじめに	2
2.	セットアップ作業の大まかな流れ	3
	(a) 従来の NAPA	3
	(b) NAPA Designer	4
	(c) NAPA Drafting	5
3.	セットアップ準備	6
	(a) パソコンのスペックの確認	6
	(b) インストーラの入手	6
	(c) セットアップ前の確認 (共通)	7
4.	セットアップ手順	8
	(a) Exceed のインストールと設定	8
	(b) 従来の NAPA のインストール	15
	(c) NAPA Designer のインストール	18
	(d) NAPA Drafting のインストール	19
5.	ライセンスの設定 (入手と有効化)	20
6.	インストール後の起動・動作確認	25
	(a) 従来の NAPA	25
	(b) NAPA Designer	26
	(c) NAPA Drafting	30
7.	設計作業開始前の管理作業	31
	(a) 共通	31
	(b) NAPA Designer	32
	(c) NAPA Drafting	32
別紙 1	NAPA をインストールするパソコンの推奨スペック	33
別紙 2	使用するライセンスファイルと SYSDB の(一時的な)変更方法	35
	(a) 従来の NAPA	35
	(b) NAPA Designer	37
別紙 3	異なるグラフィック処理機能を使用して NAPA Designer を起動する	38
別紙 4	アンインストール方法	39
	(a) 従来の NAPA、NAPA Designer	39
	(b) NAPA Drafting	39
別紙 5	CodeMeter ライセンスを無効化する方法	40
別紙 6	Microsoft .NET Framework に関する操作	41
	(a) Microsoft .NET Framework のバージョンの確認方法	41
	(b) .NET Framework 3.5 を有効化する	41
別紙 7	ネットワークドライブの割り当て方法	42
別紙 8	Macro Editor の設定方法	43
別紙 9	スタンドアロン機での ServerDB のインストール方法	44
別紙 10	テキスト形式のライセンスの申請・有効化方法	46

1. はじめに

NAPA の提供する設計支援ソフトの使用においては、NAPA、NAPA Designer、Drafting の他、付随ソフトのインストールが必要となります。

インストールの実施においては、まず「2 章 セットアップ作業の大まかな流れ」を参照して下さい。

備考

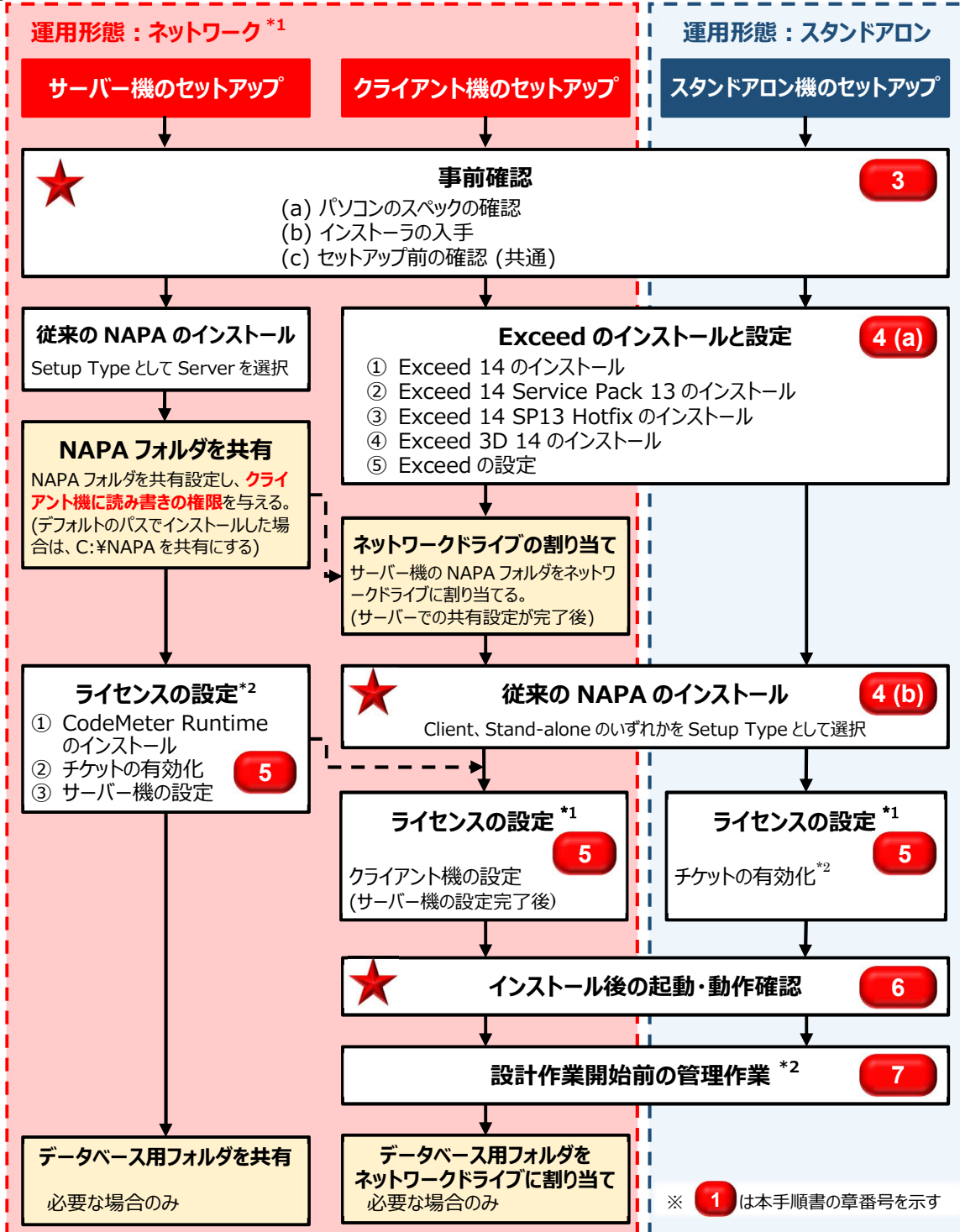
- NAPA を使用するシステムの構成には、「ネットワーク」と「スタンドアロン」がある。

運用形態	備考
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> • 1 台のサーバー機と複数台のクライアント機で構成される運用形態。 • Floating 形式のライセンスを複数のクライアント機で共有することができる。(同時使用できる NAPA の数がライセンスによって制御される。) • 通常、NAPA の操作はクライアント機のみで行う。 • サーバー機とクライアント機をそれぞれセットアップする必要がある。
スタンドアロン	<ul style="list-style-type: none"> • パソコン単独で NAPA を使用方法 • ライセンスの共有はできない (NAPA を使用できるのはライセンスを有効化しているパソコンのみ) • セットアップを行うのは、スタンドアロン機のみ

- 従来の NAPA はインストールせずに NAPA Designer をインストールすることも可能。ただし、
 - NAPA の契約変更を伴わずに NAPA Designer のみをインストールする事ができるのは、ライセンス形式が Floating License の場合のクライアント機のみ
 - ライセンスファイル(napalic.txt)に「NAPA Designer のみをインストールするパソコン」を追加すると、これらのパソコンへの Exceed のインストールも技術的には可能になる。しかし、Exceed の超過インストールは OpenText 社との契約に反することになるため、**弊社との間の契約以上の数の Exceed をインストールしないよう、ユーザー側の責任にて管理をお願いします。**
- 以下のソフトについては、異なるリリースを同じパソコンに同時にインストールすることが可能
 - 従来の NAPA
 - NAPA Designer
- アンインストールの方法は、「別紙 4 アンインストール方法」を参照

2. セットアップ作業の大まかな流れ

(a) 従来の NAPA



※ 新しいリリースを追加インストールする時に必要な作業は★の付いているもののみ

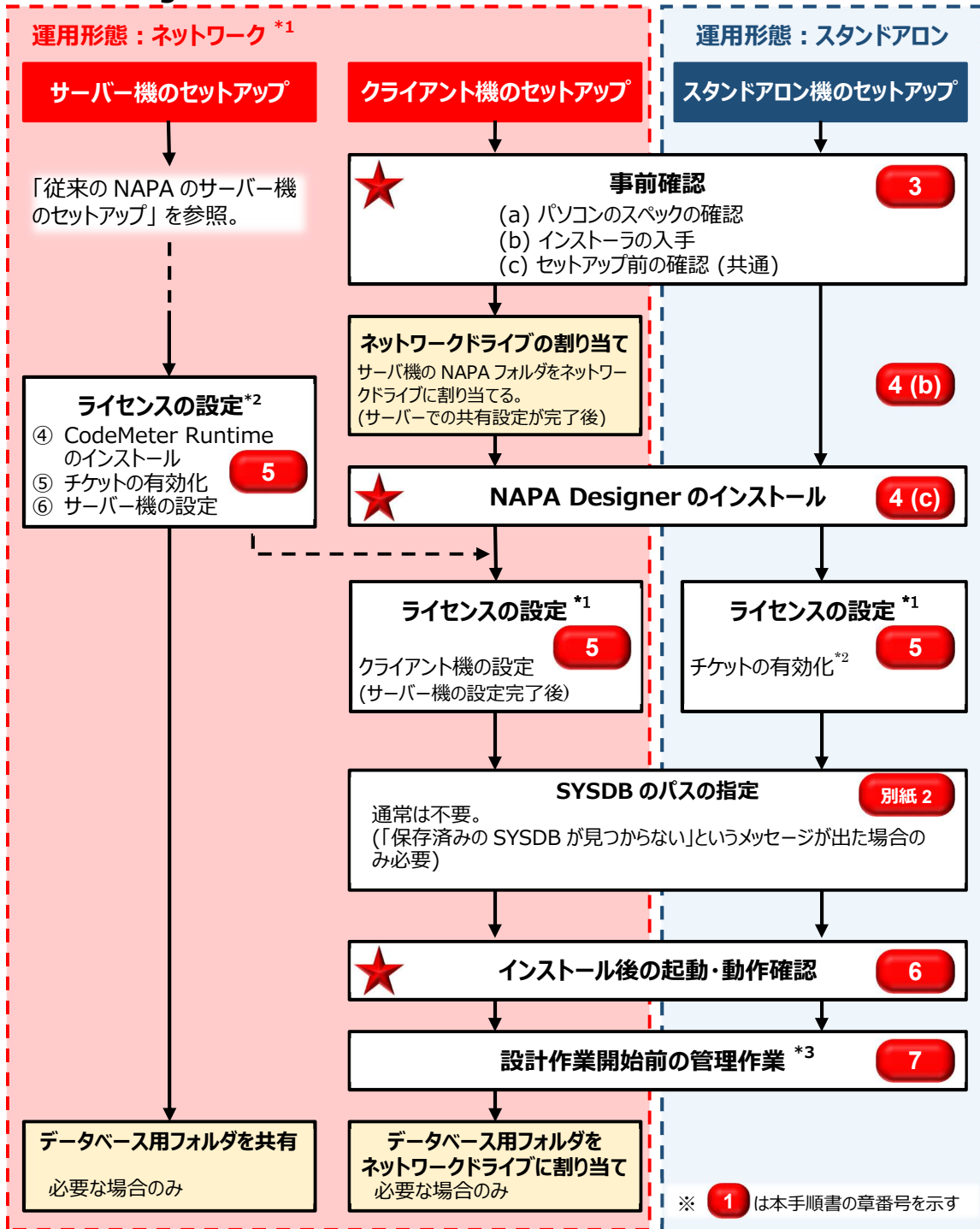
*1 ネットワーク構成の場合は、サーバー機のセットアップを最初に行う。

*2 NAPA Designer で実施済みの場合、及び対象のパソコンで有効なライセンスファイルがある場合は不要

*3 ユーザーID 等を既に登録済みの場合は不要

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

(b) NAPA Designer



※ 新しいリリースを追加インストールする時に必要な作業は★の付いているもののみ

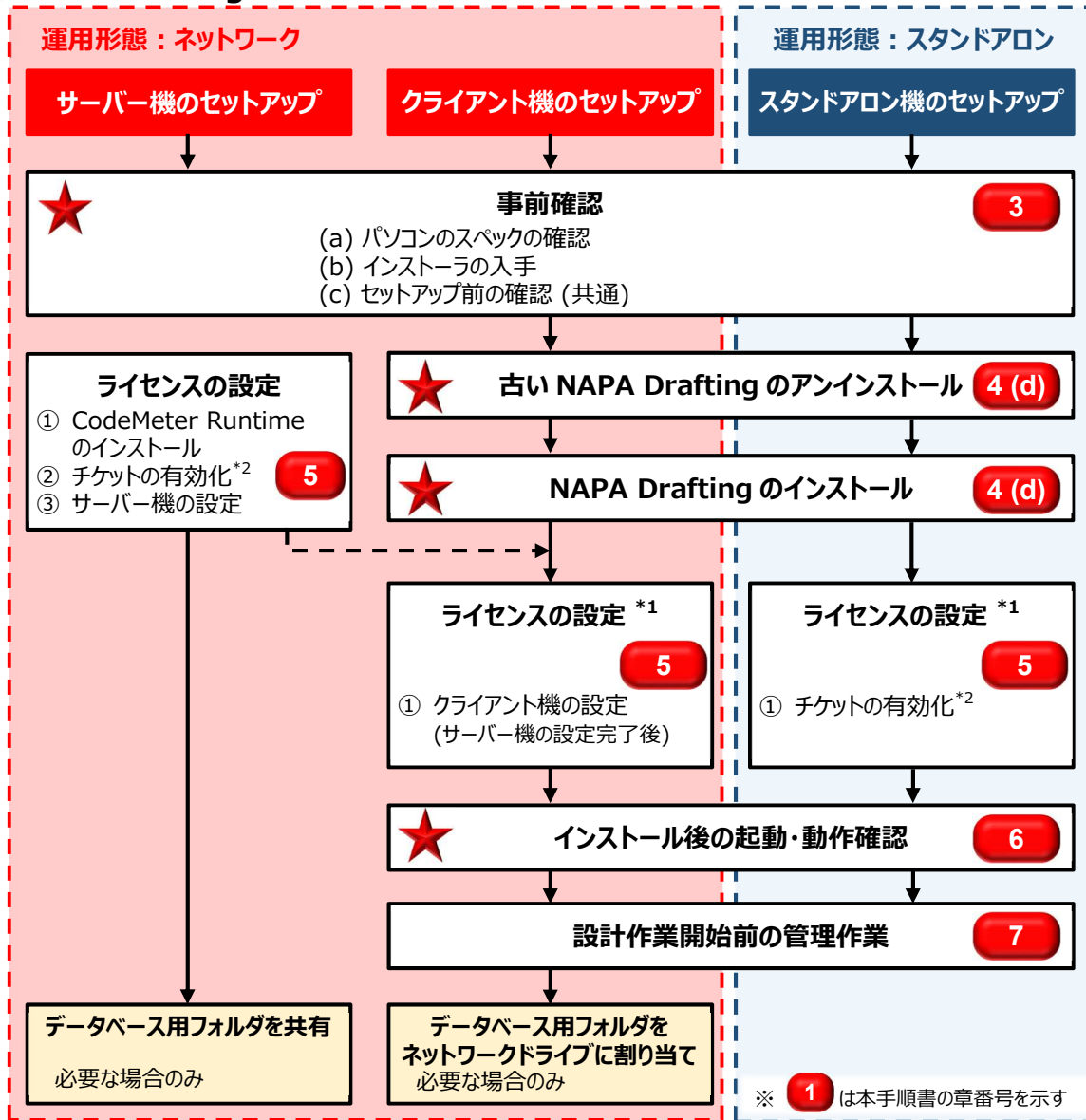
^{*1} ネットワーク構成の場合は、サーバー機のセットアップを最初に行う。

^{*2} NAPA Designer で実施済みの場合、及び対象のパソコンで有効なライセンスファイルがある場合は不要

^{*3} ユーザーID 等を既に登録済みの場合は不要

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

(c) NAPA Drafting



※ 新しいリリースをインストールする時に必要な作業は★の付いているもののみ

*1 NAPA Drafting をインストールすると、自動的に CodeMeter Runtime もインストールされる。

*2 既に対象のパソコンで、過去にチケットを有効化済みの場合は不要

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

3. セットアップ準備

(a) パソコンのスペックの確認

インストールを開始する前に、Release Note または別紙 1 を参照して、パソコンのハードウェアが推奨を満足していることを確認して下さい。

なお、**Release ごとに推奨スペックが更新されている**場合がありますのでご注意ください。

(b) インストーラの入手

セットアップの対象によって、必要となるインストーラが異なりますのでご注意ください。

インストーラは、<https://napanet.napa.fi/downloads/> から入手できます。(Exceed 14 と Exceed 3D 14 を除く)

運用形態	ネットワーク		スタンドアロン
対象 PC の種類	サーバー機	クライアント機	スタンドアロン機
Exceed	-	<i>Exceed 14</i> Exceed 14 Service Pack 13 Exceed 14 SP13 Hotfix <i>Exceed 3D 14</i>	
従来の NAPA	NAPA***.exe		
NAPA Designer	-	NAPA Designer ****.exe	
NAPA Drafting (OEM 版) *1	-	NapaDrafting****.exe	
NAPA Drafting (Plugin 版) *1	-	NAPA Drafting Plugin ****.exe	
CodeMeter Runtime *2	CodeMeterRuntime.exe	-	
ServerDB *3	ServerDbSetup.exe		ServerDbSetup.exe (FEM 機能使う場合のみ必要)

*1 NAPA Drafting の 2 つの版の違いは以下の通り。

OEM 版 : NAPA Drafting 単独でインストールするもの

Plugin 版 : 別途インストールされている AutoCAD のプラグインとして使用するもの

*2 CodeMeter Runtime は、NAPAnet の Downloads のページの「CodeMeter Runtime for NAPA License Management」からダウンロードできる。

*3 ServerDB のセットアップについては、別資料にて説明している。

ただし、スタンドアロン機での ServerDB のインストール方法については、別紙 9 にて説明している。

注)

上記のソフトのほか、NAPA を使用する上ではいくつかの他社製ソフトが必要 (詳細は Release Note 参照)。これらのソフトがインストールされていない場合、通常は NAPA のインストールの途中に自動的にダウンロードの上インストールされるが、パソコンがインターネットに接続されていない場合などには手動でのインストールが必要となる。

必要に応じて、これらの他社製ソフトのインストーラを弊社から提供するので、必要な方は弊社カスタマーサービスまでお問い合わせ下さい。

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

(c) セットアップ前の確認 (共通)

インストール中のトラブルを防ぐため、以下の点を事前に確認してからセットアップ作業を始めて下さい。
 なお、各ソフトのセットアップ前にも、それぞれ固有の確認事項を記載していますので、確認をして下さい。

	確認事項	重要度	備考
1	Windows のアカウント名 (ログイン ID 名) に 日本語などの 2 バイト文字が入っていないこと (すなわち、英字だけが使われていること)	★★★	パスに日本語が含まれていると、インストールやソフトの動作に問題が生じる。
2	インストーラの保存場所のパスに、 日本語などの 2 バイト文字が入っていないこと (すなわち、英字だけが使われていること)	★★★	同上
3	セットアップするパソコンがインターネットにつながっていること	★★	パソコンがインターネットにつながっていない場合は、必要なソフトを先にインストールしておく。 (3 章(b) 参照)
4	.NET Framework 3.5 がインストールされ、有効化されていること	★★	別紙 6 参照
5	Microsoft .NET Framework 4.6.2 が入っていること	★	通常は、インストール時に自動的にインストールされる。

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

4. セットアップ手順

(a) Exceed のインストールと設定

Exceed のインストールは、以下の順番に行います。

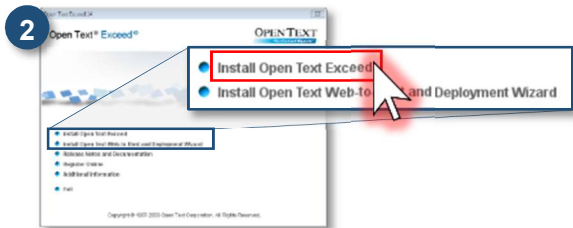
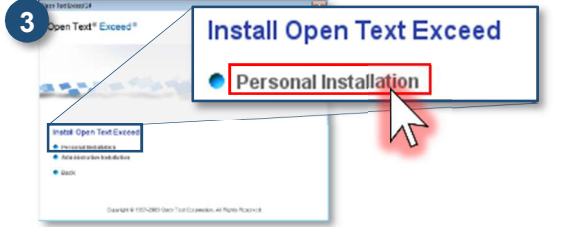
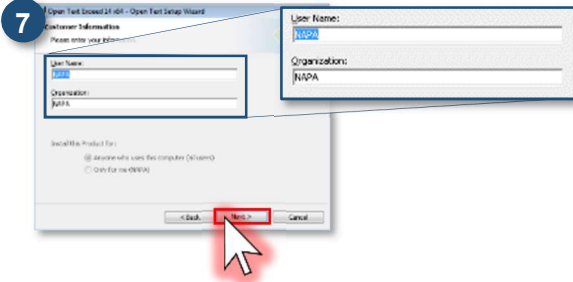
- ① Exceed 14 のインストール
- ② Exceed 14 Service Pack 13 のインストール
- ③ Exceed 14 SP13 Hotfix のインストール
- ④ Exceed 3D 14 のインストール
- ⑤ Exceed の設定
(従来の NAPA のセットアップの完了後に行っても良い)

① Exceed 14 のインストール


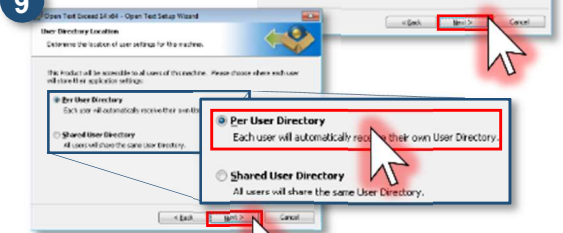
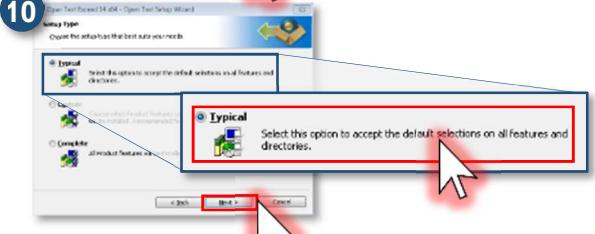
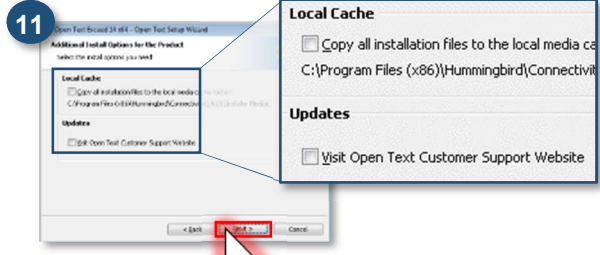
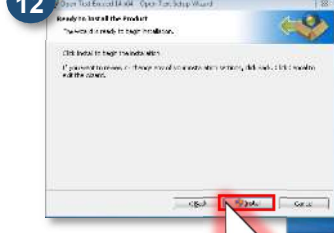
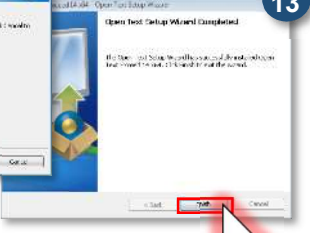
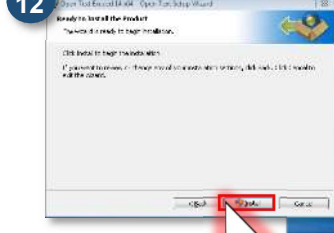
事前確認

	確認事項	重要度	備考
1	Exceed のインストール数が、契約上認められる数を上回っていないこと	★★★	Exceed のインストール数の超過は Open Text 社との契約に反することになるため、 弊社との間の契約以上の数の Exceed をインストールしないよう、ユーザー側の責任にて管理をお願いします。

セットアップ手順

No.	作業手順	
1	インストーラを起動 (Exceed_v14\Msetup.exe)	
2	起動メニュー 「Personal Installation」をクリック	
3	Install Open Text Exceed 「Install Open Text Exceed」をクリック	
4	Setup Language Selection 言語を選択し、「OK」をクリック (通常は English)	
5	Welcome to the Open Text Setup Wizard ... Exceed 14 のインストールメニューが表示されるので、「Next」をクリック	
6	License Agreement 利用規約を確認し、「I accept...」を選んだ後に「Next」をクリック	
7	Customer Information User name と Organization を入力し、「Next」をクリック (入力は任意の文字列。ただし、日本語は不可)	

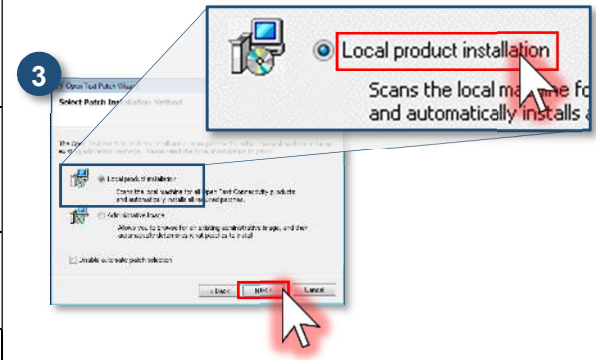
- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

No.	作業手順	
8	Destination Folder インストールパスを指定し、「Next」をクリック。通常はデフォルトのままで良い。	
9	User Directory Location 「Per User Directory」か「Shared User Directory」のどちらかを選択し、「Next」をクリック	
10	Setup Type 「Typical」を選択し、「Next」をクリック	
11	Additional Install Options for the Product インストールの追加オプションは、どちらにもチェックを入れずに、「Next」をクリック	
12	Ready to Install the Product 「Install」をクリックすると、インストールが開始する	
13	Open Text Setup Wizard Completed 「Finish」をクリックしてインストールを完了する	
14	再起動画面 「Yes」をクリックし、パソコンを再起動させる。	

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

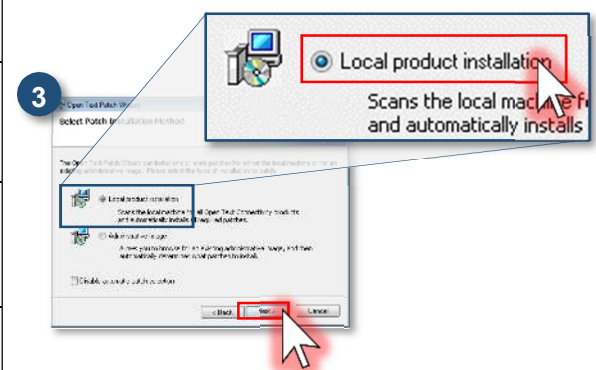
② Exceed 14 SP13 のインストール

No.	作業手順
1	インストーラを起動 (OpenTextConnectivity14x64_ServicePack13.exe)
2	Welcome to the Open Text Patch Wizard for Open Text Products 「Next」をクリック
3	Select Patch Installation Method 「Local Product Installation」を選択し、「Next」をクリック
4	Ready to Install Patch 「Install」をクリックすると、インストールが開始する
5	The Open Text Patch Wizard has completed successfully Finish をクリックしてインストールを完了する



③ Exceed 14 SP13 Hotfix のインストール

No.	作業手順
1	インストーラを起動 (QFE_EX64_14013HF16.exe)
2	Welcome to the Open Text Patch Wizard for Open Text Products 「Next」をクリック
3	Select Patch Installation Method 「Local product installation」を選択し、「Next」をクリック
4	Ready to Install Patch 「Install」をクリックすると、インストールが開始する
5	The Open Text Patch Wizard has completed successfully 「Finish」をクリックしてインストールを完了する

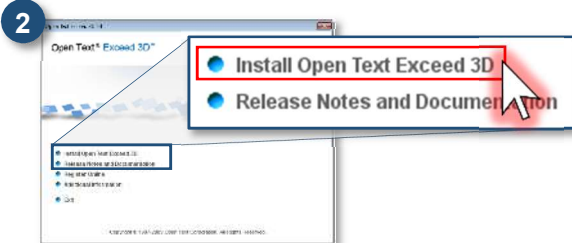
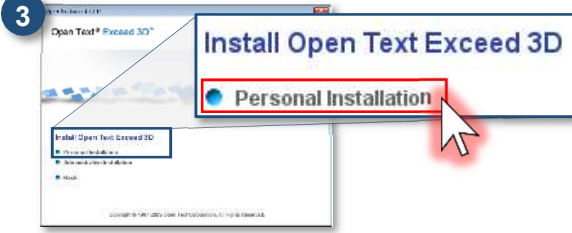

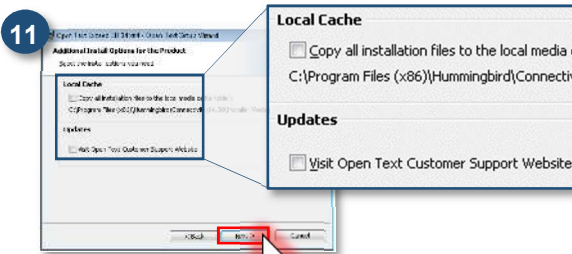


よくあるトラブル (詳しくは付録参照)

- SP13 や Hotfix がインストールされていないのにも関わらず、「インストール済み」と表示されて「Install」ボタンをクリックできない

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

④ Exceed 3D 14 のインストール

No.	作業手順	
1	インストーラを起動 (Exceed3D_v14\Msetup.exe)	
2	起動メニュー 「Install Open Text Exceed 3D」をクリック	
3	Install Open Text Exceed 3D 「Personal Installation」をクリック	
4	Setup Language Selection 言語を選択し、「OK」をクリック (通常は English)	
5	Welcome to the Open Text Setup Wizard ... Exceed 3D 14 のインストールメニューが表示されるので、「Next」をクリック	
6	License Agreement 利用規約を確認し、「I accept...」を選んだ後に「Next」をクリック	
7	Customer Information User name と Organization を入力し、「Next」をクリック (入力は任意の文字列。ただし、日本語は不可)	
8	Destination Folder インストールパスを指定し、「Next」をクリック。通常はデフォルトのままで良い。	
10	Setup Type セットアップのタイプとして「Typical」を選択し、「Next」をクリック	
11	Additional Install Options for the Product インストールの追加オプションは、どちらにもチェックを入れずに、「Next」をクリック	
12	Ready to Install the Product 「Install」をクリックすると、インストールが開始する	
13	Open Text Setup Wizard Completed 「Finish」をクリックしてインストールを完了する	

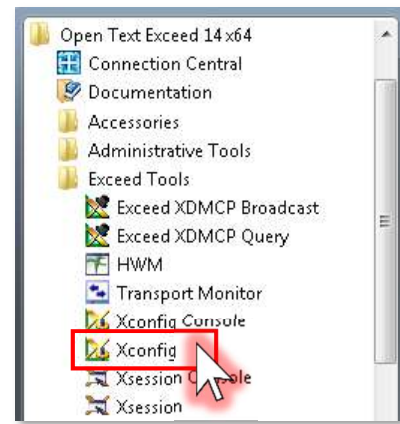
- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

⑤ Exceed の設定


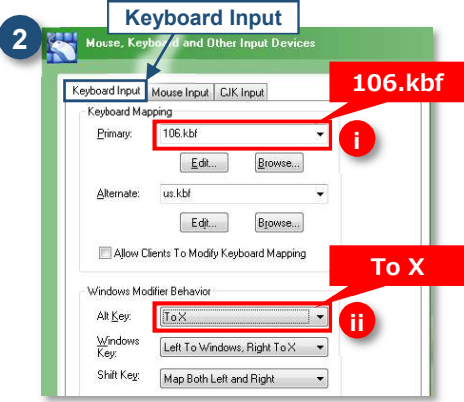
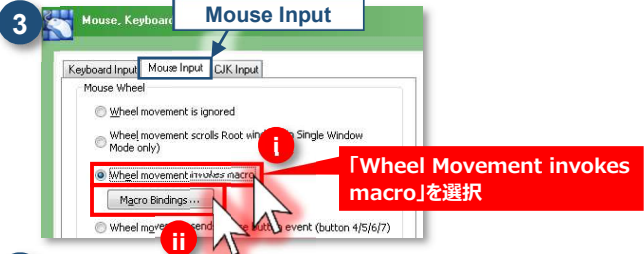
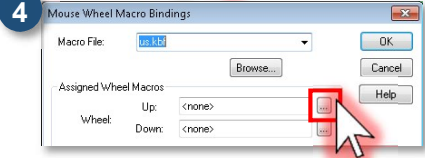
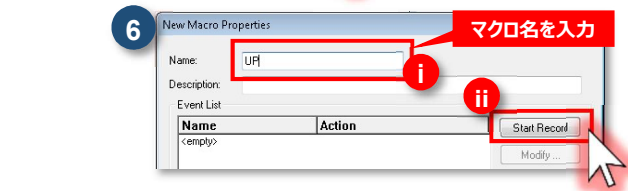
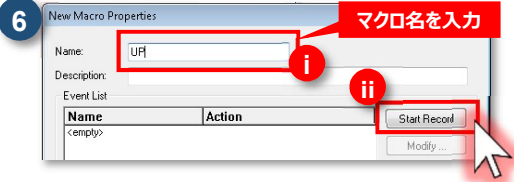
NAPA を快適に使用するには、Exceed の設定が必須です。設定を行わないと、キーボードと異なる文字が入力されたり、マウスホイールが使用できないなどの不都合が生じます。

Exceed の設定は、Xconfig というツールで行います。
Xconfig は、スタートメニューから以下の順序で開くことができます。

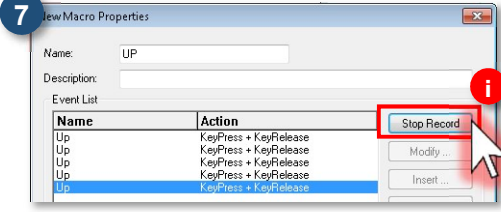
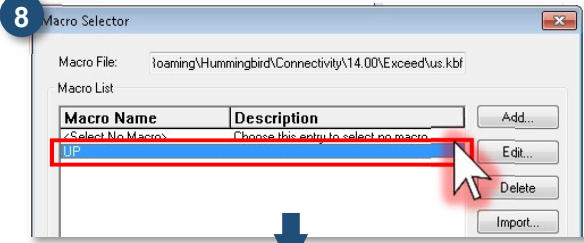
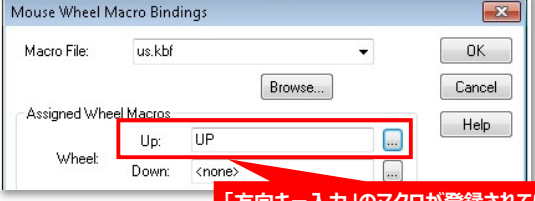

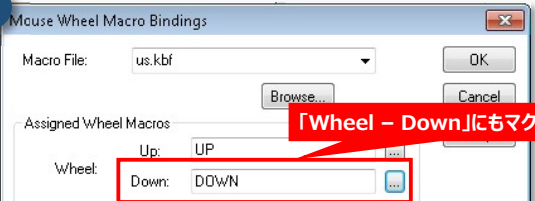
- Open Text Exceed 14
- ↳ Exceed Tools
- ↳ Xconfig




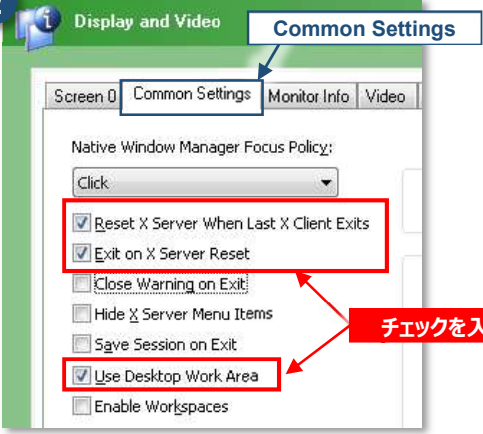
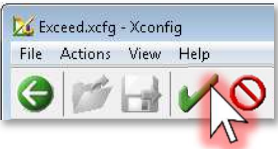
i) マウスとキーボードの設定

No.	作業手順
一般設定	
1	Xconfig を起動し、「Mouse, Keyboard and Other Input Devices」をクリック 
2	Keyboard Input タブ i) 「106.kbf」を選択 ii) 「To X」を選択 
マウスホイールの設定	
解説 Exceed 上ではマウスホイールのよるスクロールができないため、代わりに、マウスホイールが動かされた時に「上下方向キーを複数回入力する」というマクロを実行することでスクロールの動きを実現します。	
3	Mouse Input タブ i) 「Wheel Movement invokes macro」を選択 ii) 「Macro Bindings」をクリック 
4	Mouse Wheel Macro Bindings 「Wheel - Up」の横の「...」ボタンをクリック 
5	Macro Selector ダイアログ右側の「Add」ボタンをクリック 
6	New Macro Properties i) 「Name」欄にマクロ名として「UP」と入力 (他の文字列でも可) ii) 「Start Record」をクリックしてマクロ記録を開始 iii) 「上向きキー」を任意の複数回入力 

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

No.	作業手順	作業手順
7	New Macro Properties i) 「Stop Record」をクリックしてマクロ記録を停止した後、「OK」をクリック	
8	Macro Selector 「Macro List」内で前手順で作成したマクロをクリックしてハイライトさせた後、「OK」をクリック ↓ 「Wheel - Up」に「上方向キーを複数回入力する」というマクロが登録される。	
9	※ 4～8 の手順を繰り返し、「Wheel - Down」に「下方向キーを複数回入力する」というマクロを登録する	
11	Xconfig ウィンドウ左上の✓をクリックして変更を適用する 	

ii) Close 時ポップアップメッセージを表示しない設定

No.	作業手順	作業手順
1	Xconfig ウィンドウの「Display and Video」をクリック 	
2	Common Settings タブ 3箇所チェックを入れる	
3	Xconfig ウィンドウ左上の✓をクリックして変更を適用する 	

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等についてお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

iii) クリップボードの設定 (コピー&ペーストを有効にする)

No.	作業手順
1	<p>Xconfig ウィンドウの「Copy and Paste, and X Selection」をクリック</p> 
2	<p>X Selection タブ i) 「CLIPBOARD」を選択 ii) 3 箇所にチェックを入れる</p>
3	<p>Xconfig ウィンドウ左上の✓をクリックして変更を適用する</p> 

2 Copy and Paste, and X Selection

X Selection

X Selection Associated With Edit Operations:

- CLIPBOARD
- PRIMARY
- SECONDARY
- CLIPBOARD
- CUT_BUFFER0
- CUT_BUFFER1

i CLIPBOARD

Auto Copy X Selection

Copy On Focus Loss

Auto Paste To X Selection

ii チェックを入れる

Grab Clipboard Retry Time (ms): 200

Auto Paste Delay Time (ms): 200

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

(b) 従来の NAPA のインストール

事前確認

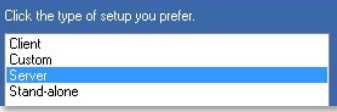
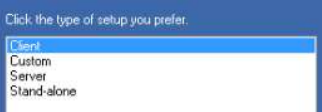
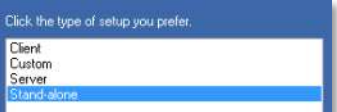




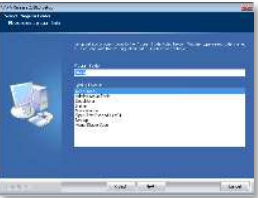
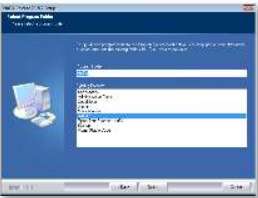
	確認事項	重要度	備考
1	Exceed がインストール済みであること。 (Service Pack 13, Hotfix, Exceed 3D も含めて全てインストール済みであること。)	★★★★	
2	(サーバー機へのインストールの場合) サーバー機にはまだ一度もセットアップがされていない	★★★★	サーバー機のセットアップは基本的に一度行えば良く、リリースごとの作業は不要。
3	(クライアント機へのインストールの場合) サーバー機へのインストールが完了し、Server files のあるフォルダ*1をネットワークドライブとしてマッピングしてあること *1 サーバー機の Pr フォルダの一つ上のフォルダを共有していること (すなわち、フォルトのパスでインストールした場合であれば C:\NAPA を共有にする)	★★★★	

セットアップ手順

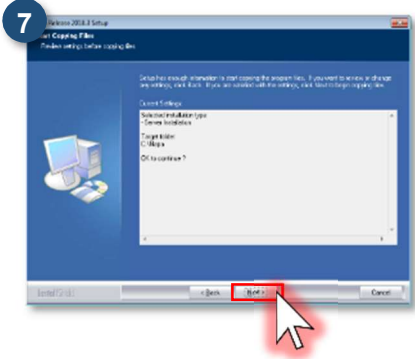
No.	作業手順
1	インストーラをクリック (解凍が始まる) (NAPA****.exe)
2	起動メニュー 解凍が完了すると起動メニューが表示されるので、「Install NAPA」をクリック
3	必要ソフトのインストール Visual Studio 等をインストールするかを問われる画面が出た場合、「Install」をクリック ※ 必要なソフトが既にインストール済みの場合は表示されない
4	NAPA Installation 「Next」をクリック
5	License Agreement 利用規約を確認し、「Next」をクリック



- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

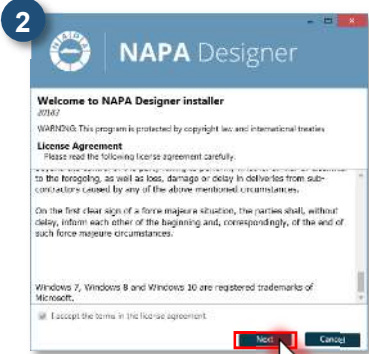
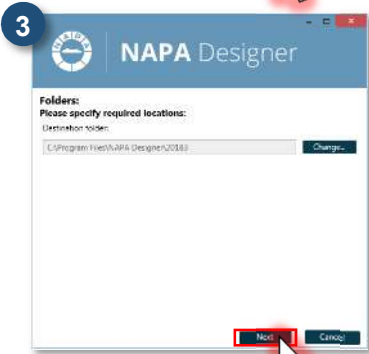
No.	作業手順		
6	<p>Setup Type ~ Start Copying File の手前まで</p> <p>セットアップを行っているのが、サーバー機、クライアント機、スタンドアロン機のいずれであるかによって、手順が異なる。 (Setup Type として、「Custom」は通常使用しない。)</p>		
	サーバー機 *1	クライアント機	スタンドアロン機
	<p>i) Setup Type</p> <p>「Server」を選んでから「Next」をクリック</p> 	<p>i) Setup Type</p> <p>「Server」を選んでから「Next」をクリック</p> 	<p>i) Setup Type</p> <p>「Stand-alone」を選んでから、「Next」をクリック</p> 
	<p>ii) Server file コピー先</p> <p>Server files をコピーするパスを指定し、「Next」をクリック (デフォルトは「C:\NAPA\」)</p>  <p>補足) Server インストールでは、以下のフォルダとファイルが生成される。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Pr フォルダ • Temp フォルダ • 新しい SYSDB.db 	<p>ii) Server file の場所の指定</p>  <p>Server Files を保存済みの場所を指定し、「Next」をクリック。 ※ 通常はネットワークドライブ。 Server files をデフォルトのパスでインストールした場合は、C:\napa に相当するフォルダを指定</p>	
		<p>iii) クライアント機上のインストールパスの指定 *2</p>  <p>クライアント機上のインストール先を指定し、「Next」をクリック</p>	<p>ii) インストール先を指定 *2</p>  <p>インストール先を指定し、「Next」をクリック</p>
		<p>iv) プログラムフォルダ指定</p> <p>プログラムのアイコンを作成する場所(フォルダ)を指定し、「Next」をクリック</p> 	<p>iii) プログラムフォルダ指定</p> <p>プログラムのアイコンを作成する場所(フォルダ)を指定し、「Next」をクリック</p> 
	<p>*1 サーバー機のセットアップは 基本的に一度行えば良く、リリースごとの作業は不要</p> <p>*2 既に「従来の NAPA」がインストールされているパソコンでは、他のリリースと同じパスを指定することを強く推奨。(デフォルトでは C:\NAPA)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 既に設定済みの SYSDB とライセンスファイルを使用可能となる - インストール済みのリリースのファイルは上書きされない 		

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

No.	作業手順	
7	<p>Start Copying Files</p> <p>確認画面でインストールの内容を確認した後、「Next」をクリック</p>	
8	<p>InstallShield Wizard Complete</p> <p>「Finish」をクリックし、インストールを完了する。</p>	

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

(c) NAPA Designer のインストール**セットアップ手順**

No.	作業手順	
1	インストーラを起動 (NAPA Designer****.exe)	
2	License Agreement 利用規約を確認してから「I accept...」にチェックし、 「Next」をクリック 注) 規約を下までスクロールしないと、「I accept…」が チェックできない。	
3	インストールパス指定 インストールパスを指定し、「Next」をクリックするとイ ンストールが開始する。	
4	インストール完了 「Exit」をクリックしてインストールを完了する。	

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

(d) NAPA Drafting のインストール


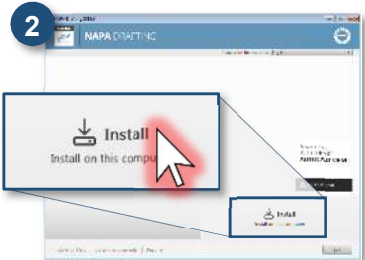
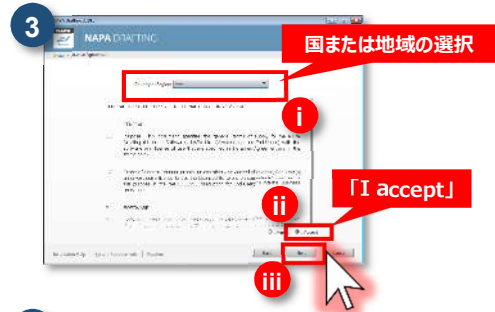
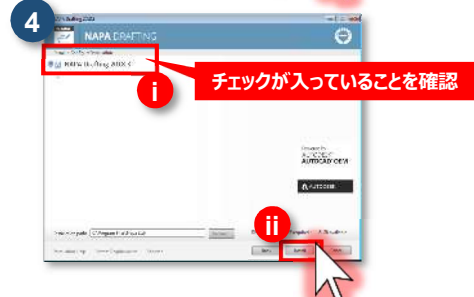
注意事項

- NAPA Drafting は、一つのパソコンに同時にインストールできるのは一つのリリースのみ。
(従来の NAPA や NAPA Designer のような複数のリリースの共存はできない。)
- NAPA Drafting のインストールは、「運用形態がネットワークの場合のクライアント機」、及びスタンドアロン機のみ必要。
(すなわち、「運用形態がネットワークの場合のサーバー機」へのインストールは不要。)

事前確認

	確認事項	重要度	備考
1	以下の 3 つのソフトが確実にアンインストールされていること <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の NAPA Drafting (含 古いリリース) ・ NAPA Drawing Service (含 古いリリース) ・ (Ver 6.5 より以前の)CodeMeter Runtime Kit 	★★★	アンインストール方法は、別紙 4 参照

セットアップ手順

No.	作業手順
1	インストーラを起動する (NAPA Drafting****.exe) → インストールファイルが解凍される。 
2	インストールメニュー 「Install」をクリック 
3	License Agreement i) 「国または地域」を選択 ii) 利用規約を確認してから「I accept」を選択 iii) 「Next」をクリック 
4	Configure Installation i) インストールする NAPA Drafting にチェックが入っていることを確認 ii) インストールパスを指定 iii) 「Install」をクリックするとインストールが始まる 
5	インストール完了 「Finish」をクリックしてインストールを完了する。

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

5. ライセンスの設定 (入手と有効化)

NAPA を利用するには弊社が発行するライセンスが必要ですので、以下の手順に従ってライセンスを入手して有効化して下さい。

備考

全ての設計用 NAPA システムは、WIBU System が提供する CodeMeter というライセンスの仕組みを利用しています。

この形式は、NAPA Drafting では従来から採用されていましたが、リリース 2021.1 にて全てのソフトウェアにて適用されるようになりました。

ライセンスの概要

- ・ 「チケット」と呼ばれる 25 文字の文字列を用いて、専用 Website 上で有効化を行う。
- ・ 運用形態がネットワークの場合、サーバー機とクライアント機でそれぞれ設定が必要。

手順の概要

1. 弊社よりチケット(25 文字の文字列)を送付
2. 専用 Website にアクセスし、チケットの有効化を行う。
有効化を行うパソコンは、運用形態に応じて異なる。
 - ネットワーク :サーバー機
 - スタンドアロン :クライアント機
3. (運用形態がネットワークの場合のみ) サーバー機とクライアント機でそれぞれ設定を行う

特記事項

- ・ ライセンスの管理には、CodeMeter というサードパーティ製ソフトを使用する。
(インストーラは NAPAnet から入手すること。2021 年 8 月時点では Ver. 7.21a。)
- ・ チケットは弊社により発行される。チケットが不明の場合は弊社カスタマーサービスまで連絡下さい。
- ・ **チケットは、ライセンスの無効化を行う際にも必要になるので、大切に保管**して下さい。
- ・ セットアップする対象のパソコンによって行う作業が異なる。(下表参照)

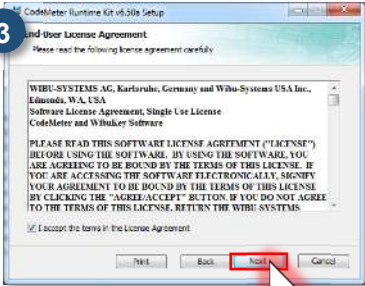
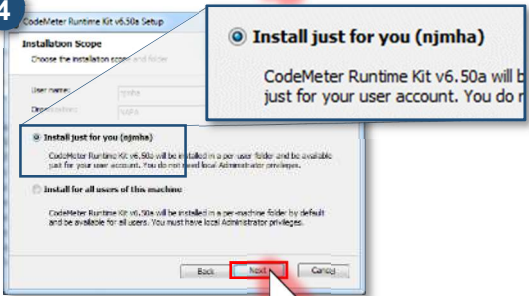
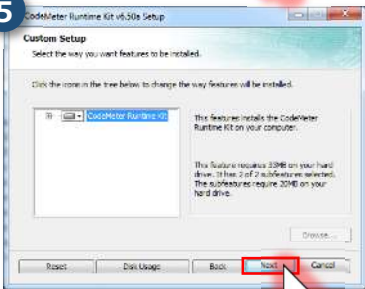
運用形態	ネットワーク構成		スタンドアロン
対象パソコン	サーバー機	クライアント機	スタンドアロン機
CodeMeter Runtime のインストール	○	*1	*1
チケットの有効化	○		○
サーバー機の設定	○		
クライアント機の設定		○	

*1 NAPA Drafting をインストールすると、自動的に CodeMeter Runtime もインストールされる。

設定手順

① CodeMeter Runtime のインストール

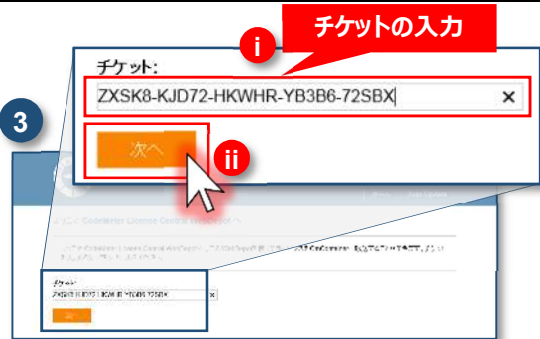




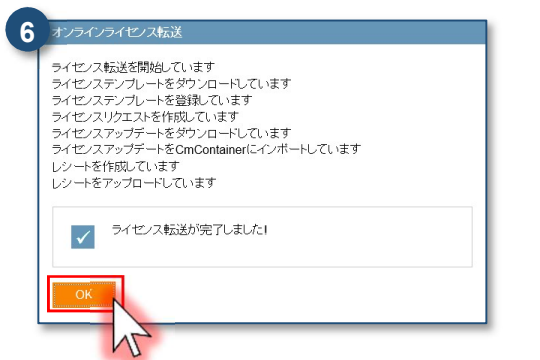
注) 本作業が必要なのは、運用形態がネットワークの場合のサーバー機のみです。

No.	作業手順	
1	インストーラを起動 (CodeMeterRuntime.exe)	
2	Welcome to the CodeMeter Runtime Kit... 「Next」をクリック	
3	License Agreement 利用規約を確認してから「I accept...」にチェックし、「Next」をクリック	
4	Install Scope 「Install just for you」を選択し、「Next」をクリック	
5	Custom Setup 「Next」をクリック	
6	Ready to install CodeMeter Runtime Kit 「Install」をクリックするとインストールが開始する。	
7	Completed the CodeMeter Runtime Kit... 「Finish」をクリックしてインストールを完了する。	

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

② チケットの有効化

注) 対象のパソコンで、過去にチケットを有効化済みの場合は不要

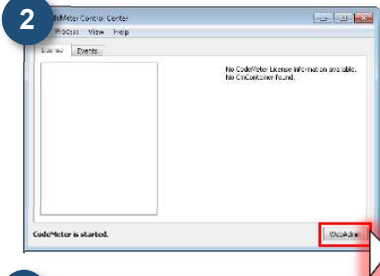



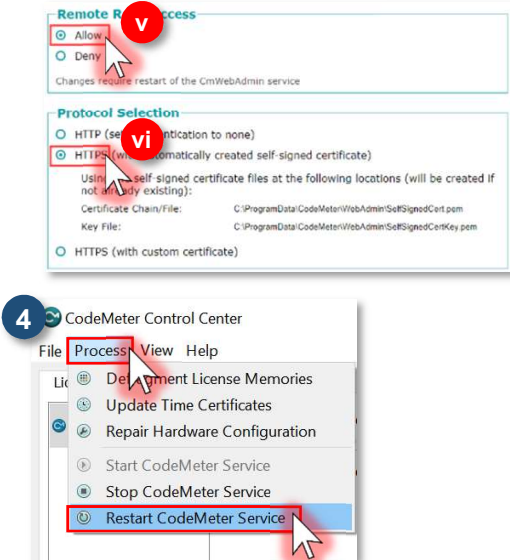
No.	作業手順	
1	<p>ライセンス有効化を行うパソコンを立ち上げる</p> <p>運用形態に応じて、以下のパソコンを立ち上げる。</p> <p>ネットワーク構成 : サーバー機 スタンドアロン構成 : スタンドアロン機</p> <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> 運用形態がネットワークの場合に、クライアント機で有効化を行わないこと。(有効化処理を行ったクライアント機以外で NAPA Drafting が使用できなくなる。) ネットワークに接続できる環境にて行うこと 	
2	<p>NAPA ライセンスサービスの Website へアクセス</p> <p>http://license.napa.fi へアクセスする。</p>	
3	<p>ようこそ CodeMeter License Central WebDepot へ</p> <p>i) 弊社から入手したチケットを「チケット欄」に入力 ii) 「次へ」をクリック</p>	
4	<p>マイライセンス</p> <p>「ライセンスをアクティベートする」をクリック</p>	
5	<p>利用可能なライセンス</p> <p>i) アクティベートするライセンスを選択 - スタンドアロンの場合は 1 つのみ - ネットワーク構成のサーバー機の場合は 1 つ以上 ii) 「選択したライセンスをアクティベート」をクリック</p>	
6	<p>オンラインライセンス転送</p> <p>「ライセンス転送が完了しました」の表示を確認し、「OK」をクリック</p>	

注) 運用形態がスタンドアロンの場合は、これにてライセンスの有効化作業は完了です。

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

③サーバー機の設定

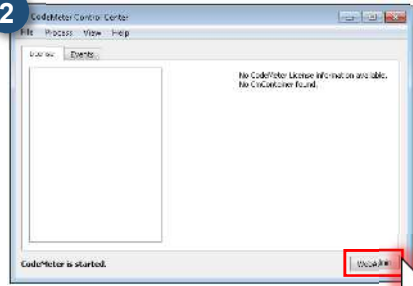

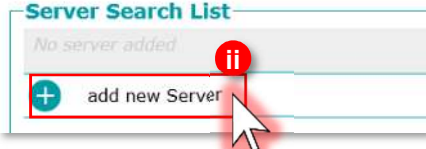

注) 本作業が必要なのは、運用形態がネットワークの場合のサーバー機のみです。

No.	作業手順	
1	<p>CodeMeter Control Center を起動</p> <p>i) サーバー機を立ち上げる ii) Windows デスクトップ画面左下のスタートメニューの「プログラムとファイルの検索」に“CodeMeter Control Center” と入力 iii) “CodeMeter Control Center” をクリック</p> <p>注) ネットワークに接続できる環境にて行うこと</p>	
2	<p>CodeMeter Control Center</p> <p>「Web Admin」をクリック。 Web ブラウザにて「CodeMeter WebAdmin」が開く。</p>	
3a	<p>CodeMeter WebAdmin (Web ブラウザ)</p> <p>i) Configuration > Server > Server Access の順にクリック ii) 「Enable」をクリック iii) 「Apply」をクリック</p>	
3b	<p>iv) Configuration > Basic > WebAdmin の順にクリック v) 「Allow」をクリック vi) 「HTTPS」をクリック vii) 「Apply」をクリック</p>	
5	<p>CodeMeter Control Center</p> <p>メニューの「Process」をクリックし、「Restart CodeMeter Service」をクリック。</p>	

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

④ クライアント機の設定

注) 本作業が必要なのは、運用形態がネットワークの場合のクライアント機のみです。

No.	作業手順	
1	<p>CodeMeter Control Center を起動</p> <p>i) クライアント機を立ち上げる ii) Windows デスクトップ画面左下のスタートメニューの「プログラムとファイルの検索」に“CodeMeter Control Center” と入力 iii) “CodeMeter Control Center” をクリック</p> <p>注) ネットワークに接続できる環境にて行うこと</p>	
2	<p>CodeMeter Control Center</p> <p>「Web Admin」をクリック。 Web ブラウザにて「CodeMeter WebAdmin」が開く。</p>	  
3	<p>CodeMeter WebAdmin (Web ブラウザ)</p> <p>i) Configuration > Basic > Server Search List の順にクリック ii) 「add new Server」をクリック iii) サーバー機の IP Address を「Enter the Server's name or IP-Address:」の箇所に入力 iv) 「Add」をクリック v) 「Apply」をクリック</p>	

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

6. インストール後の起動・動作確認

ソフトが問題なく使えることを確認するため、セットアップ完了後に起動確認を行うことを推奨します。


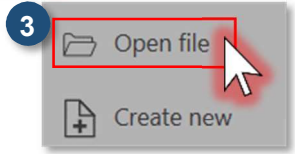
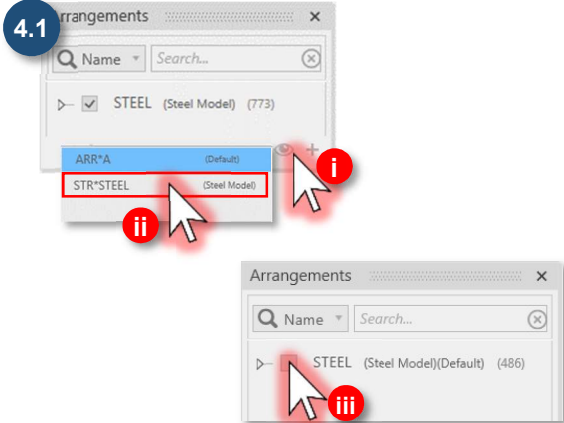
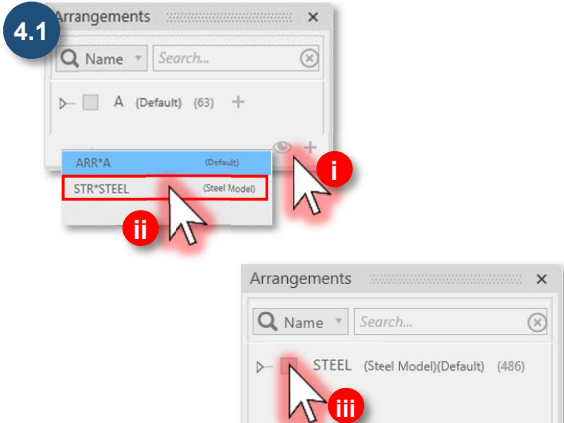
(a) 従来の NAPA

No.	作業手順	
1	従来の NAPA をショートカットから起動	
2	<p>NAPA Login</p> <p>登録済みのユーザーID とパスワードを用いてログインする。 (ユーザーID 未登録の場合は、ADMI という ID (パスワードは無し)を用いても良い。)</p>	
3	<p>確認項目 1 プロジェクトが開ける</p> <p>メインウィンドウのメニューバーの Project> Open Project をクリックし、「Open Project」ダイアログから、適当なプロジェクトを開く。 (Pr フォルダ内にあるデモプロジェクトなど)</p> <p>※ メニューバーの下「Active Project」欄にプロジェクト名が表示され、プロジェクトを開くことが出来たら確認項目 1 はクリア</p>	
4	<p>確認項目 2 Hull を描画できる</p> <p>以下の順にコマンドを入力し、各行で Enter を押下する。*1</p> <pre>DEF PLO HULL</pre> <p>※ ワイヤーフレームの Hull が表示されれば確認項目 2 はクリア</p>	

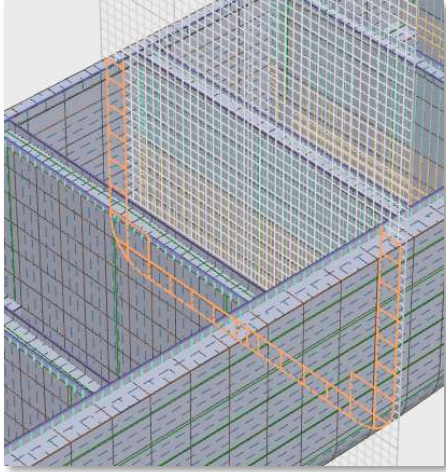
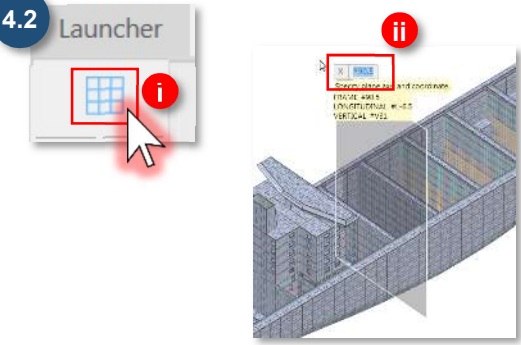

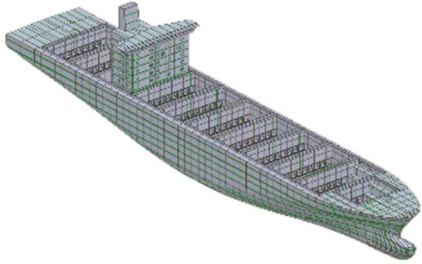
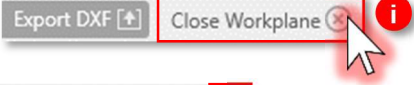
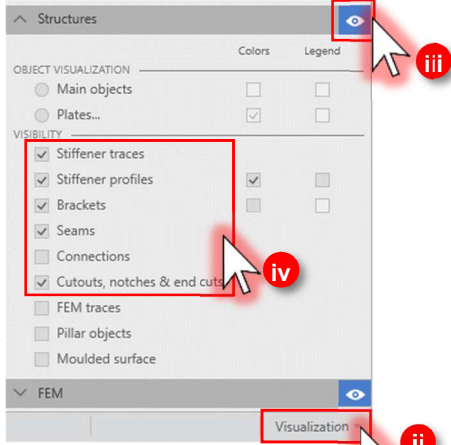
*1 作業開始時に、メインウィンドウの行の先頭が TASK?>となっていない場合、!END コマンドを実行してから作業する。

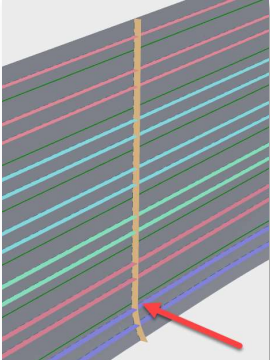
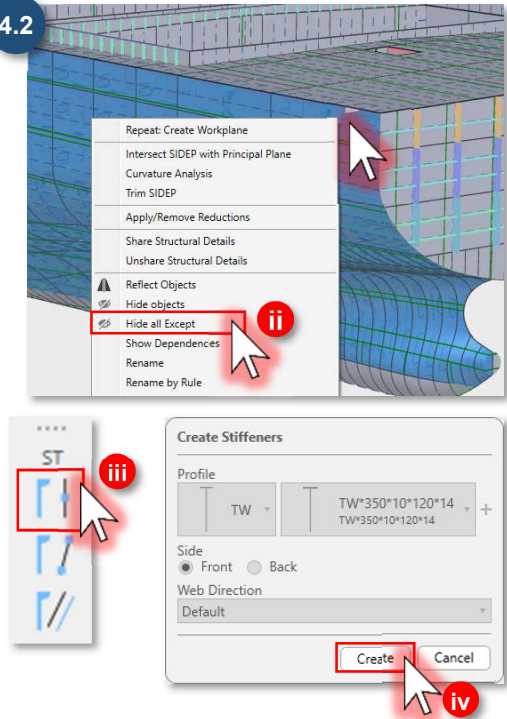
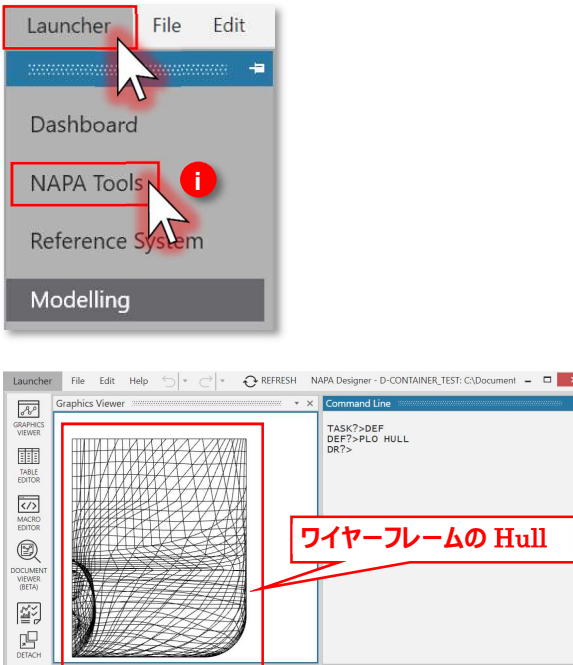
- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

(b) NAPA Designer

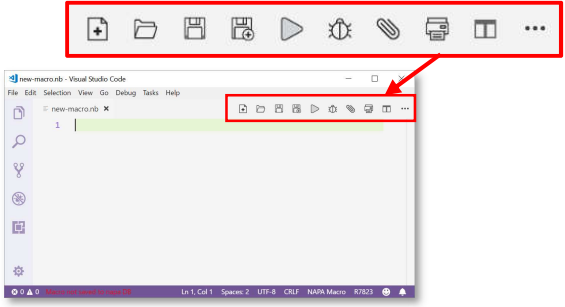
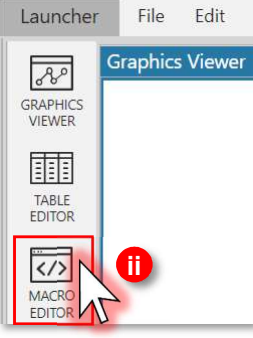
No.	作業手順	
1	NAPA Designer をショートカットから起動	
2	NAPA Login 登録済みのユーザーID とパスワードを用いてログインする。 (ユーザーID 未登録の場合は、ADMI という ID (パスワードは無し)を用いても良い。)	
3	確認項目 0 プロジェクトを開ける i) プロジェクト選択ウィンドウにて、左下の「Open file」をクリック ii) ダイアログにて、“pr\demoprojects”フォルダ内にある適当なデモデータベース(例: D-CONTAINER.db)を選択し、「Open」をクリック	
NAPA Steel 以外を使用する方向けの確認項目		
4.1	確認項目 1 Compartment モデルを表示できる i) 「Arrangement」パネル*1にて、👁️ をクリック。 ii) ARR*A クリック iii) ARR*A にチェックを入れる ※ 下図のような区画モデルが表示されたら確認項目1はクリア	 <p data-bbox="917 1276 1485 1333">*1 「Arrangement」パネルが表示されていない場合は、メニューの Windows>Arrangements から表示させる。</p>
NAPA Steel を使用する方向けの確認項目		
4.1	確認項目 2 NAPA Steel モデルを表示できる i) 「Arrangement」パネル*1にて、👁️ をクリック。 ii) STR*STEEL クリック iii) STR*STEEL にチェックを入れる ※ 下図のような板部材モデルが表示されたら確認項目1はクリア	

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

No.	作業手順	
<p>4.2</p> <p>確認項目 3 断面を表示できる</p> <p>i) 左上の Workplane ボタンをクリック</p> <p>ii) カーソル付近に断面位置入力画面が現れるので適当な座標(例: 100)を入力</p> <p>iii) 画面上部の「Workplane ツールバー」にある「Show Section」ボタンをクリック</p> <p>※ 下図のような断面が表示されたら確認項目 2 はクリア</p> 		<p>4.2</p>  
<p>4.3</p> <p>確認項目 4 スティフナ等を表示できる</p> <p>i) 「Workplane ツールバー」にある「Close Workplane」ボタンをクリック</p> <p>ii) 画面下部の“Visualization”をクリック</p> <p>iii) 「Structures」の横の👁️をクリックし、斜線の入っていない状態にする。</p> <p>iv) 「Stiffener trace」等にチェックを入れる（「Connection」はチェックを入れないことを推奨）</p> <p>※ 下図のような詳細構造モデルが表示されたら確認項目 3 はクリア</p> 		<p>4.3</p>  

No.	作業手順	
4.4	<p>確認項目 5 スティフナを作成できる</p> <p>i) 外板を選択 (D-CONTAINER の場合は SIDEP)</p> <p>ii) 右クリックし、”Hide all except”をクリック → 外板だけが表示される</p> <p>iii) 「Principle Plane Stiffener」をクリック</p> <p>iv) 外板をクリックし、ENTER を押下 → 「Create Stiffener」ダイアログが表示される</p> <p>v) 適宜 X,Y,Z を押下して配置方向を切り替えた後、外板の適当な場所をクリック</p> <p>vi) ダイアログの「Create」をクリック</p> <p>※ 右図のようにスティフナを新たに作成できたら確認項目 4 はクリア</p> 	<p>4.2</p> 
NAPA Tools と Macro Editor の起動		
5.1	<p>確認項目 6 NAPA Tools を起動できる</p> <p>i) 「Command line」に以下の順にコマンドを入力し、各行で Enter を押下する。*1</p> <pre>DEF PLO HULL</pre> <p>ワイヤフレームの Hull が表示されれば確認項目 6 はクリア</p> <p>*1 作業開始時に、Command line の行の先頭が TASK?>となっていない場合、!END コマンドを実行してから作業する。</p>	

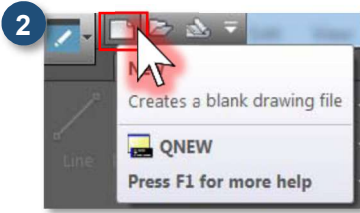
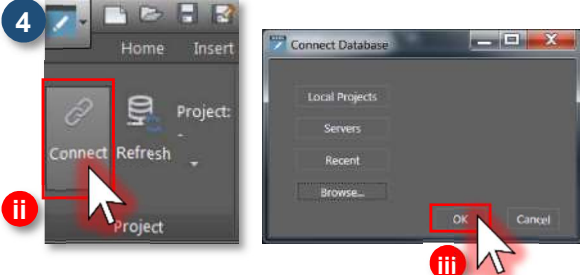
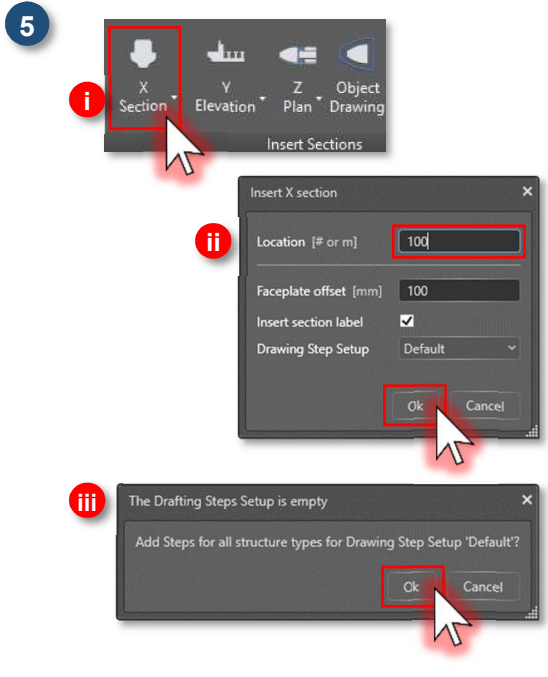
- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

No.	作業手順	
5.2	<p>確認項目 7 Macro Editor を起動できる</p> <p>i) Launcher を開き、「NAPA Tools」をクリック</p> <p>ii) 「Macro Editor」をクリック</p> <p>iii) 下図のように Visual Studio Code のウィンドウが表示され、かつ赤枠の「NAPA Basic 用ツールバー」が表示されていれば確認項目 5 はクリア</p> 	

- ※ 確認項目 1~4 までの確認中に問題が生じる場合、別のグラフィック処理機能を使用することによって改善する可能性があります。詳しくは別紙 3 を参照下さい。
- ※ 確認項目 5 に問題がある場合、Macro Editor が正しくセットアップできていません。別紙 8 に従って設定を行って下さい。

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

(c) NAPA Drafting

No.	作業手順	
1	NAPA Drafting をショートカットから起動	
2	新規作成ボタンをクリック	
3	ダイアログにて適当なテンプレートを選択し、「Open」をクリック → 新規図面が作成される。	
4	<p>確認項目 1 データベースへ接続できる</p> i) リボンの「NAPA」タブを選択 ii) 「Connect」ボタンをクリック iii) 表示されるダイアログにて適当なデータベースを選択し、「OK」をクリック ※ 下図のように選択したデータベース名がリボンに表示されれば、確認項目 1 はクリア	
5	<p>確認項目 2 断面を描画できる</p> i) 「X Section」をクリック ii) ダイアログの「Location」に適当な座標(例: 100)を入力し、「OK」をクリック iii) 「Add steps for all structure types for...」というダイアログが表示されたら、「OK」をクリック iv) 断面がカーソル位置に現れたら、適当な場所でマウスを左クリック ※ 下図のように断面が表示されれば、確認項目 2 はクリア	

- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

7. 設計作業開始前の管理作業

(a) 共通

共通で行う管理作業は以下の2つがあります。

設定済みの SYSDB を引き続き使用する場合は作業不要です。

	作業	備考
①	ユーザーID の登録	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーID を登録することで、作業者の識別ができるようになる。 ユーザーID 登録前は、「ADMI」という ID でログイン可能 (パスワードなし) SYSDB に情報が登録されるため、設定済みの SYSDB を使用している場合は作業不要
②	Run Register (NAPA の起動情報) を保存するように設定	<ul style="list-style-type: none"> この設定を行うことで、!LR コマンドによって現在使用中のライセンス状況を確認できるようになる。 従来の NAPA の Task > Management > Run Registry からも確認できる。(ライセンスの強制解放も可能)

① ユーザーID の登録

1) 従来の NAPA を立ち上げる。(ネットワーク構成の場合は、いずれかのクライアント機上から行う。)

2) ADM の下の INST タスクへ移動

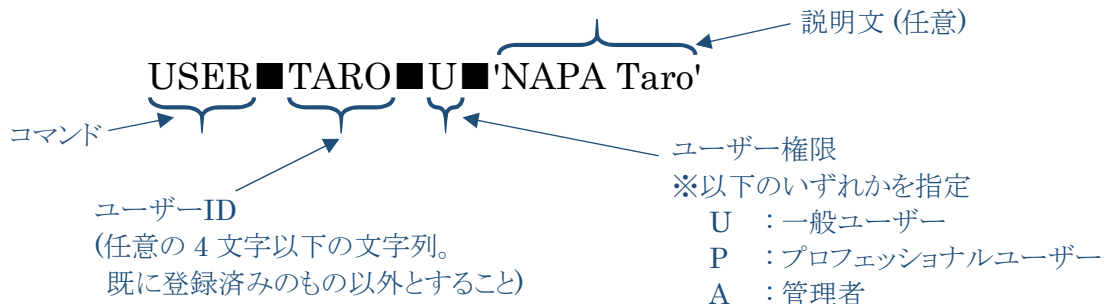
※以下の順にコマンドを入力し、各行で Enter を押下すると INST タスクへ移動できる。

(作業開始時に、メインウィンドウの行の先頭が TASK?>となっていない場合、!END コマンドを実行してから作業する。)

```
ADM
INST
```

3) USER コマンドを入力し、Enter を押下すると新しいユーザーが登録される。

(以下の例では、スペースを■で表現している。)



② Run Register(NAPA の起動情報)を保存するように設定

1) 従来の NAPA を立ち上げる。(ネットワーク構成の場合は、いずれかのクライアント機上から行う。)

2) ADM の下の INST タスクへ移動

(INST タスクへの移動方法は、「① ユーザーID の登録」を参照)

3) RREG ON と入力し、Enter を押下

(b) NAPA Designer

ログインするユーザーIDを設定

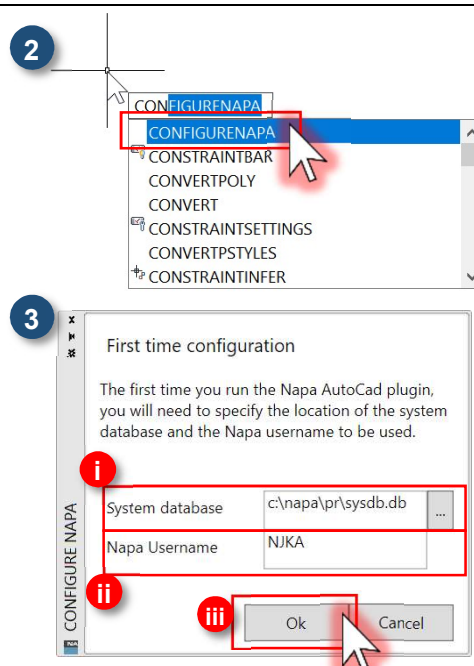
No.	作業手順
1	NAPA Designer を立ち上げる
2	プロジェクト選択画面 i) プロジェクト選択画面の右端のユーザー名をクリック ii) 「Switch User」をクリック
3	ログインユーザー設定ダイアログ 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「Log in」をクリック。プロジェクト選択画面に戻る。



(c) NAPA Drafting

ユーザーIDとSYSDBを設定

No.	作業手順
1	NAPA Drafting を立ち上げ、適当なファイルまたは新しいファイルを開く。
2	CAD 画面 CAD 画面上にて「CONFIGURENAPA」とタイプし、プルダウンメニューから CONFIGURENAPA をクリック
3	First time configuration i) SYSDB のパスを設定 ii) ログイン ID を入力 iii) 「OK」をクリック



- インストール中にトラブルが生じた場合は、「付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング」を参照下さい。
- インストール等に関してお困りの場合は、弊社カスタマーサービス(customer.service@napa.fi)にお気軽にお問い合わせ下さい。

別紙 1 NAPA をインストールするパソコンの推奨スペック

最終更新・確認日:2018/12/27 (Release 2018.3)

Operating system versions

The following operating system versions (**64-bit only**) are currently supported:

- Windows 7 + minimum of Service Pack 1
- Windows 8.1
- Windows 10

The following Windows Server operating system versions are currently supported (not supported on Server Core Role):

- Windows Server 2012
- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016

Hardware configurations

A high performance workstation is recommended for NAPA use:

- fast processor (e.g. Intel Core i7)
- fast graphics adapter
- enough memory (16 Gb or more)
- SSD hard drive
- Gigabit ethernet

The recommended minimum hardware configuration is:

- Processor: Any 64-bit
- Operating System: 64-bit Windows from the above list
- Memory: 4 GB
- Free Disk Space: 60 GB
- Graphics Adapter: 1GB memory, OpenGL 1.2 compatible and DirectX 10.1+ compatible
- Network Adapter is required
- Screen resolution 1600 x 1200 pixels.

It is, however, possible to run NAPA on a computer with a lower performance. The absolute minimum hardware requirements would be:

- Processor: Up from Pentium III 1000 MHz
- Memory: 2 GB
- Free Disk Space: 20 GB
- Graphics Adapter: 64 Mb memory, OpenGL 1.2 compatible
- Network Adapter is required
- Screen resolution 1024 x 768 pixels. It is recommended to start NAPA with Tinylayout if this resolution is used (the word Tinylayout is entered into the field User Profile in the Login window).

For parallel probabilistic damage stability calculations we recommend at least:

- Intel Core i7 of a recent generation, with many CPU cores.
- 24Gb memory or more
- SSD drive
- Damage stability calculations do not take advantage of the graphics card

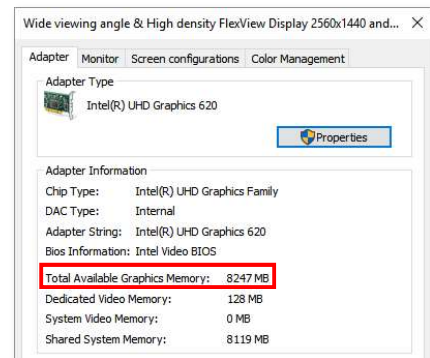
Hardware configurations for Server Database

ServerDB is a new, officially supported way of maintaining projects, especially in a multi user environment. For more information please read Server Database section in "Project Administration" chapter under Napa for Design Manuals.

- Master Server Requirements
- 64bit Windows 7 or later
- 16 GB RAM or higher
- SSD (Solid State Drive) recommended
- Client System Requirements
- 64bit WIndows 7 or later
- 8 GB RAM or higher
- SSD (Solid State Drive) recommended

補足

- 上記の使用は、NAPA を実際に操作するパソコンに対するもの。サーバー機については、複数のクライアントの処理を実行するため、一般的には上記よりも高い仕様(グラフィックやディスプレイ関係を除く)が推奨される。
- 上記の「Graphics Adapter」に相当する値は、以下の手順で確認できる。
 - ① Windows キーを押下し、「設定」をクリック
 - ② 「Windows の設定」ダイアログで「システム」をクリック
 - ③ 「アダプターのプロパティの表示」をクリック
 - ④ 「利用可能な全グラフィックメモリ」が上記の「Graphics Adapter」に相当する。(右図参照)



別紙 2 使用するライセンスファイルと SYSDB の(一時的な)変更方法

従来の NAPA と NAPA Designer のライセンスファイルと SYSDB のパスは、以下の方法でインストール時に登録されたものから変更することができます。

(一時的に別のものを用いる場合、または何らかの理由で正しく設定できていない場合)

なお、「ライセンスファイルに記載されている SYSDB のパス」と「本方法で指定する SYSDB のパス」が異なる場合、NAPA を起動できないのでご注意ください。

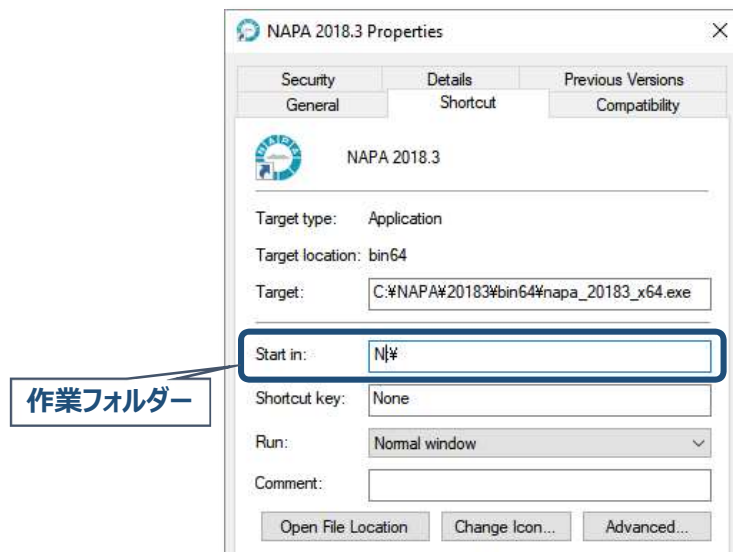
(a) 従来の NAPA

方法 1 起動ショートカットのプロパティを変更する方法

本方法は以下のいずれかの場合に使用可能

- ・ライセンスファイルと SYSDB が同じフォルダ(pr フォルダ)に保存されている場合
- ・ライセンスファイル上に SYSDB のパスが指定され、その場所に SYSDB が保存されている場合

- 1) 起動ショートカットを右クリックし、プロパティをクリック
- 2) プロパティダイアログの「作業フォルダー (Start in)」に「Pr フォルダの 1 つ上のフォルダ」のパスを記入
 - 起動時、ここで指定されたフォルダの中の Pr フォルダ内のライセンスファイル等が使用される。
 - ライセンスファイル上に SYSDB のパスが指定されている場合は、その SYSDB が使用される。



方法 2 バッチファイルを使用する方法

本方法を使用すると、起動に関わるファイルをそれぞれ指定して従来の NAPA を起動することができます。(ショートカットの代わりとして使用可能)

手順

- Windows のテキストエディタを開き、以下の例を参考にしてバッチファイルを作成する。
パソコンごとに変更する必要があるのは**赤太字箇所**。
(NAPADB、IOF ファイル、SYSDB、ライセンスファイル、etc.)
※ より詳細な情報は Installation Instructions を参照

```

SET NAPADB=C:\Napa\20183\database\napadb.db
SET NAPAIOF=C:\ProgramData\Napa Ltd\temp\IOF_X64.DAT
SET NAPASYSDB=C:\napa\pr\sysdb.db
SET NAPALICENSE=C:\napa\pr\napalic.txt
SET PATH=%PATH%;C:\Program Files\Hummingbird\Connectivity\14.00\Exceed\
C:
CD \NAPA
"C:\Napa\20183\bin64\napa_20183_x64.exe"

```

実行ファイルの保存されたドライブ名

実行ファイルの保存されたフォルダ

Exceed のフォルダパス

- 作成したテキストファイルを適当な名前前で保存。ただし、**拡張子は「.bat」とする**。
- 作成したバッチファイルをダブルクリックすると、指定されたファイルを用いて NAPA が起動される。

補足

現在使用中の各データベースファイル、ライセンスファイルは以下のコマンドで確認することができる。(どのタスクでも使用可能)

各データベースファイル	!OPEN LIS
ライセンスファイル	!LR +

(b)NAPA Designer

- 1) 起動ショートカットを右クリックし、プロパティをクリック
- 2) プロパティダイアログの「リンク先 (Target)」の欄を下図の様に書き換える。
 - 元々記載されているプログラムのパスの後ろに、**Ⓐ**と**Ⓑ**(又はそのどちらか)を付け加える。
 - **■**はスペースに置き換えること。また、無駄なスペースを入れないこと。
 - **Ⓐ**や**Ⓑ**の記述を削除すると、別途登録済みのパスが使用される。

「--licence」の後に、ライセンスファイルのパス **Ⓑ**
(スペルミスに注意。license ではない)

“C:¥ ... NAPA Designer.exe” ■ --sysdb ■ C:¥pr¥sysdb.db ■ --licence ■ C:¥pr¥napalic.txt

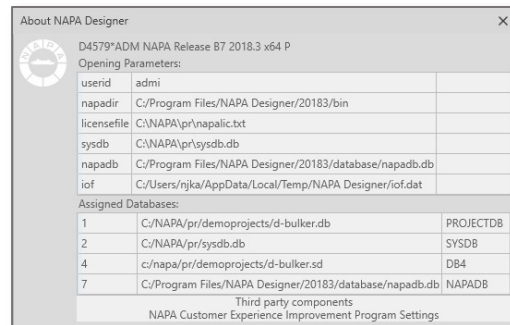
プログラムのパス

「--sysdb」の後に、SYSDB のパス **Ⓐ**

リンク先

補足

現在使用中の各データベースファイルとライセンスファイルは Help > About NAPA Designer から表示できるウィンドウで確認できる。



別紙 3 異なるグラフィック処理機能を使用して NAPA Designer を起動する

NAPA Designer は標準では DirectX をグラフィック処理機能として使用するが、パソコンによってはグラフィック処理に伴う不具合により、ソフトが不安定になる事があります。
 その様な場合、別のグラフィック処理機能(OpenGL 2)を使用すると動作が安定する可能性があります。

※ OpenGL2 とデフォルト設定の DirectX とでは 見た目や機能にほとんど差はなし。
 強いて言えば、OpenGL の方がアンチエイリアスの表現の仕方が劣ること程度。

DirectX 以外のグラフィック処理機能を用いて NAPA Designer を起動する方法

- ① NAPA Designer のショートカットの右クリックメニューから、プロパティを選択
- ② Property -> Target 内の「...NAPA Designer.exe」の後ろに、「--graphics-driver opengl2」と記入。
- ③ NAPA Designer を起動し、使用されているグラフィック処理機能が「OpenGL2_Hardware」に変わっていることを確認する。(確認方法は次項参照)



使用されているグラフィック処理機能の種類の確認方法

- ① NAPA Designer を起動した状態で「Cntl+Alt+R」を押下。
- ② 画面左上に各種情報が表示される。
一番下の「Driver Type」が、現在使われているグラフィックドライバを示す。
- ③ もう一度「Cntl+Alt+R」を押下すると各種情報が非表示になる

```

update time: 0.029
finish time: 0.001
region time: 0.001
segments: 30
3d triangles: 10
dl 3d triangles: 757
mem dl: 1
3d text: 0
polyhedrons: 5
tristrips: 5
dl executes: 1
dl strips: 19
ndl strips: 5
save region: 1
vr em: 1 %
fb mem: 155M
memory total: 12M
memory used: 3M
memory allocate: 1
ffdebug: 0x80000000
lffdebug: 0xE0000000
wffdebug: 0x0
wllffdebug: 0x5
ff_routine:
lff_routine:
lff_note:
driver type: OpenGL2_Hardware
    
```

OpenGL2_Hardware

別紙 4 アンインストール方法

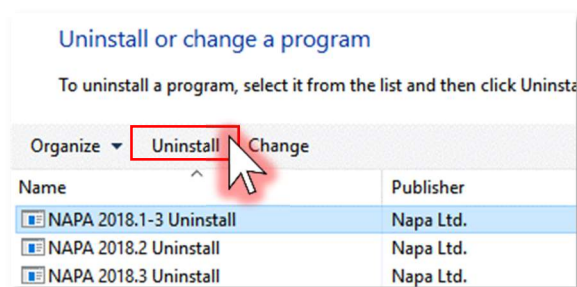
(a) 従来の NAPA、NAPA Designer

注) 従来の NAPA と NAPA Designer の新しいリリースをインストールする際に、インストール済みの他のリリースをアンインストールする必要はありません。

(異なるリリースを同じパソコンに共存してインストールすることが可能)

手順

- 1) コントロールパネルから「プログラムのアンインストール」をクリック
- 2) アンインストールする対象を選択し、「アンインストールをクリック」
- 3) アンインストールウィザードで「Remove」又は「Uninstall」を選択し、「Next」をクリック



(b) NAPA Drafting

注) NAPA Drafting の新しいリリースをインストールする前に、**必ず他の NAPA Drafting と NAPA Drawing Service の両方をアンインストール**して下さい。

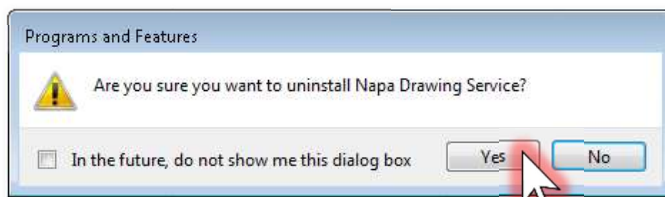
(NAPA Drafting は、異なるリリースを同じパソコンに共存してインストールすることができません。

場合によっては、CodeMeter Runtime Kit のアンインストールも必要。)

手順

- 1) コントロールパネルから「プログラムのアンインストール」をクリック
- 2) アンインストールする対象を選択し、「アンインストールをクリック」
- 3) アンインストールウィザードで「Uninstall」を選択し、「Next」をクリック
(Drawing Service の場合は「Yes」をクリック)

Drawing Service の場合




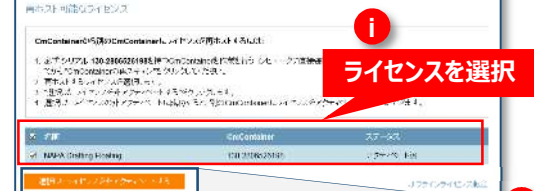

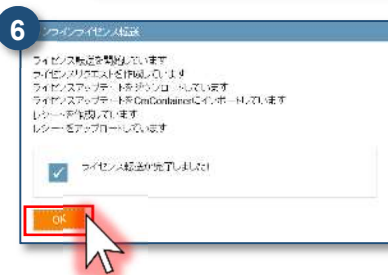


よくあるトラブル (詳しくは付録参照)

- ・ Drawing Service がプログラム一覧に無い

別紙 5 CodeMeter ライセンスを無効化する方法

以下の処理を行うことで、他のパソコンでライセンスを有効化することができるようになります。

No.	作業手順	
1	ライセンス有効化を行ったパソコンを立ち上げる 運用形態に応じて、以下のパソコンを立ち上げる。 ネットワーク構成 : サーバー機 スタンドアロン構成 : スタンドアロン機 注) <ul style="list-style-type: none"> ネットワークに接続できる環境にて行うこと ライセンス有効化を行ったものと異なるパソコンでは、無効化処理ができません。 	
2	NAPA ライセンスサービスの Website へアクセス http://license.napa.fi へアクセスする。	
3	ようこそ CodeMeter License Central WebDepot へ i) 無効化するライセンスに対応したチケットを「チケット欄」に入力 ii) 「次へ」をクリック	
4	マイライセンス 「ライセンスを再ホストする (Re-Host Licenses)」をクリック	
5	再ホスト可能なライセンス i) 無効化するライセンスを選択 ii) 「選択したライセンスを非アクティブにする (Deactivate Selected Licenses Now)」をクリック	
6	オンラインライセンス転送 「ライセンス転送が完了しました」の表示を確認し、「OK」をクリック	

よくあるトラブル (詳しくは付録参照)

- 「シリアル ***** を持つ CmContainer が見つかりません。」というメッセージが出て、ライセンスの無効化が出来ない。

別紙 6 Microsoft .NET Framework に関する操作

(a) Microsoft .NET Framework のバージョンの確認方法

インストールされている Microsoft .NET Framework のバージョンおよび Service Pack のレベルを確認するには、レジストリ情報を確認する必要があります。

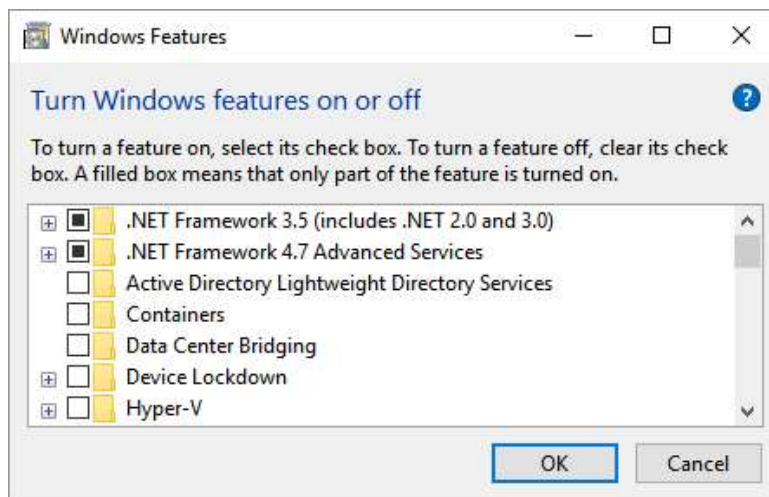
詳しい手順は、以下のリンクを参照下さい。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/318785/how-to-determine-which-versions-and-service-pack-levels-of-the-microso>

(b) .NET Framework 3.5 を有効化する

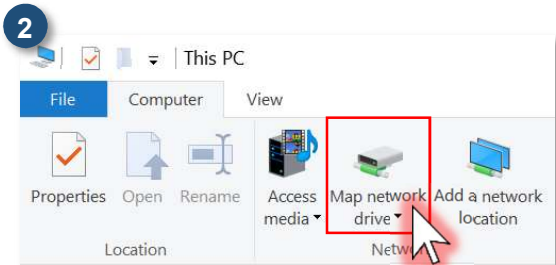
参考 URL <https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/framework/install/dotnet-35-windows-10>

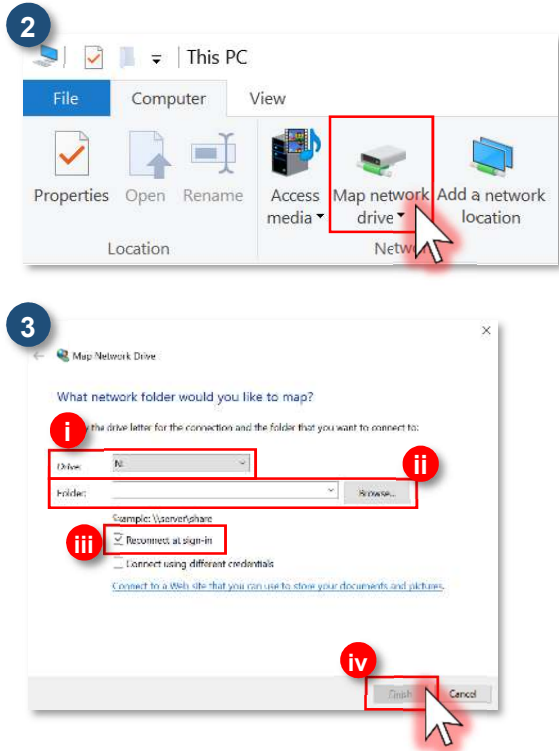
- ⑤ Windows キーを押下し、「Windows の機能 (Windows Features)」と入力して、Enter キー押下
- ⑥ 「Windows 機能の有効化または無効化」ダイアログ ボックスが表示される。
- ⑦ 「.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」チェック ボックスをオンにし、「OK」を選択。
- ⑧ メッセージが表示された場合はコンピューターを再起動する



別紙 7 ネットワークドライブの割り当て方法

出典 <https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4026635/windows-map-a-network-drive>

No.	作業手順	
1	「マイコンピュータ」を開く。	
2	マイコンピュータ メニューの「ネットワークドライブの割り当て」をクリック	
3	ネットワークドライブの割り当て i) ドライブのプルダウンの一覧で、ドライブ文字を選択 ii) フォルダの欄にフォルダまたはコンピューターのパスを入力する。または、[参照] を選択してフォルダまたはコンピューターを見つける。 iii) 「サインイン時に再接続する」のチェックボックスをオンにする。 iv) 「完了」をクリック	
4	アクセス認証画面 ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」をクリック	
5	マイコンピュータに 3. で指定したネットワークドライブが表示される。	



別紙 8 Macro Editor の設定方法

Macro Editor は、Visual Studio Code という、Microsoft が開発したソースコードエディタを利用しています。

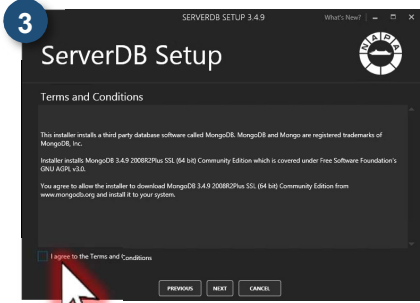
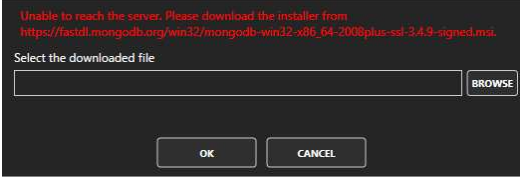

通常は、NAPA のインストール時に同時に設定されますが、うまく設定されていない場合は以下の手順に従って作業をする必要があります。

No.	作業手順	
1	<p>(「Visual Studio がインストールされていない」というメッセージが表示される場合)</p> <p>以下のリンクから MS Visual Studio Code をインストールする https://code.visualstudio.com/</p>	
2	<p>(下図のような「NAPA Basic 用ツールバー」が表示されていない場合)</p>  <p>以下のリンクから Visual Studio Code の Extension をインストールする。 https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=napa-ltd.napamacro-debug</p>	<p>2</p> 

別紙 9 スタンドアロン機での ServerDB のインストール方法

ServerDB は、サーバーとクライアント間の通信を改善するための仕組みなので、ネットワーク構成で使用されるのが基本です。しかし、NAPA Designer の FEM 機能に関する情報は ServerDB 形式で保存されることから、**スタンドアロン機でも ServerDB をインストールする必要があります。**

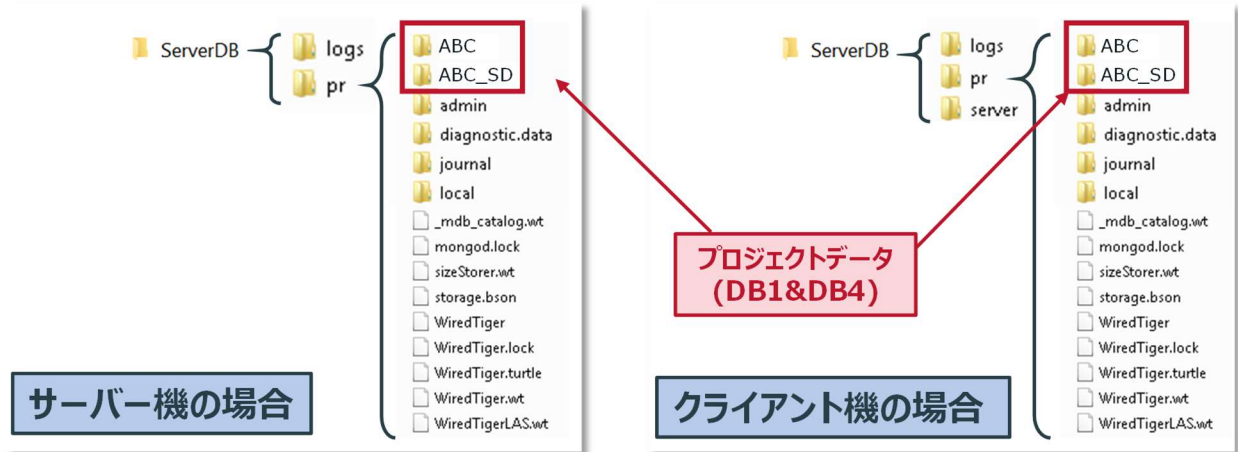
なお、NAPA Designer の FEM 機能を使うと、ServerDB 形式のデータベースが自動的に生成されます。

No.	作業手順							
1	ServerDBSetup.exe を実行する。							
2	Welcome to the ServerDB Setup Wizard 「Next」をクリック							
3	Terms and Condition Welcome to the ServerDB Setup Wizard 「Next」をクリック							
4	Installation Path i) 以下のパスを設定 <table border="1" data-bbox="284 919 961 1283"> <thead> <tr> <th>パス</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Installation Path</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ServerDB のプログラムのインストール先 基本的に変更する必要なし。 </td> </tr> <tr> <td>Project file path</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ServerDB 形式の NAPA Project Data の保存先。 ユーザーにとって分かりやすい場所に変更することを強く推奨。 注) フォルダパスに関する次ページの注意点を参照のこと </td> </tr> </tbody> </table> ii) 「Next」をクリック 注) インターネットにアクセスできなかった場合は、④の後に以下のメッセージが表示される。この場合は、表示された URL から MongoDB を別途ダウンロードの上、そのパスを指定する。 	パス	備考	Installation Path	<ul style="list-style-type: none"> ServerDB のプログラムのインストール先 基本的に変更する必要なし。 	Project file path	<ul style="list-style-type: none"> ServerDB 形式の NAPA Project Data の保存先。 ユーザーにとって分かりやすい場所に変更することを強く推奨。 注) フォルダパスに関する次ページの注意点を参照のこと	
パス	備考							
Installation Path	<ul style="list-style-type: none"> ServerDB のプログラムのインストール先 基本的に変更する必要なし。 							
Project file path	<ul style="list-style-type: none"> ServerDB 形式の NAPA Project Data の保存先。 ユーザーにとって分かりやすい場所に変更することを強く推奨。 注) フォルダパスに関する次ページの注意点を参照のこと							
5	Setup Complete 「Setup Complete」と表示されたら、「Finish」をクリック							
6	再起動と動作確認 パソコンを再起動した後、次ページに記載の 動作確認を行う 。							

Project file path に関する注意事項

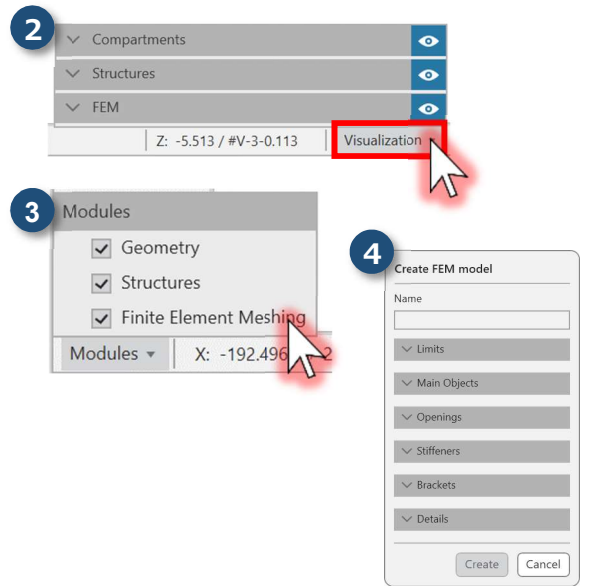
- 本フォルダ以外の場所に ServerDB のデータベースを保存することはできない
- プロジェクトの種類ごとなどの階層・フォルダ分けはできない。
- ネットワークフォルダを指定できない。必ずローカルのパスを指定すること。
- インストール後に変更することはできない。
(変更する場合は ServerDB を再インストールする必要がある)
- 指定したフォルダの下に、サブフォルダが自動的に生成される。(下図参照)

「C:¥NAPA¥ServerDB」を指定した場合のフォルダ構成



動作確認

No.	作業手順
1	NAPA Designer を起動し、任意のデータベースを開く
2	i) ウィンドウ下部の「Visualization」をクリック ii) 「Structures」と「FEM」の隣の目のアイコンをクリックし、機能を有効化する。(👁️の状態にする)
3	i) ウィンドウの左端にあるツールバーの下の Modules をクリック ii) 「Finite Element Meshing」にチェックを入れる
4	FEM ツールバーの「Create FEM Model (📄)」ボタンをクリック Create FEM Model ダイアログ(右図④)が表示されたら動作確認はクリア



別紙 10 テキスト形式のライセンスの申請・有効化方法

テキスト形式のライセンスは 従来の NAPA と NAPA Designer のライセンス制御にリリース 2020.2 まで利用されていたもの。2021.1 がリリースされた後は基本的に使用することはないが、まれに必要な場合があるので以下にライセンスの申請・有効化方法の手順を示す。

手順の概要

- ① NAPA を使用するパソコンにてライセンスリクエストファイル(napalicenserequest.txt)を生成する
- ② ライセンスリクエストファイルを弊社のカスタマーサービスに E-mail で送付
- ③ 弊社より受領したライセンスファイルを所定の場所に保存

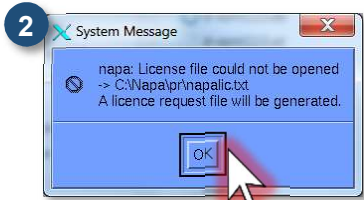
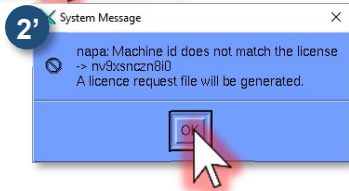
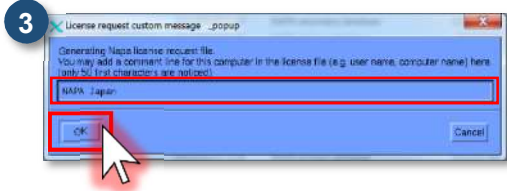
ライセンスの概要

- ・ ライセンスファイルは、napalic.txt というテキストファイル。ライセンスファイルには Machine ID を含んでいるため、ライセンスリクエストファイルを生成したパソコン以外で NAPA を使用することはできない。napalic.txt の内容を少しでも編集すると、無効になるので注意のこと。
- ・ **ライセンスリクエストファイルは、NAPA を使用するパソコン全てで生成する必要がある。**
(ネットワーク構成の場合のサーバー機を除く全て)
- ・ **従来の NAPA、または NAPA Designer のいずれかで作業**をするだけでよい。
(すなわち、従来の NAPA で作業をすれば、NAPA Designer のライセンスも有効化される。)
- ・ ネットワーク構成のライセンスには、SYSDB のパスが記入される。
「ライセンスファイルに記載されている SYSDB のパス」と「実際の SYSDB のパス」が異なる場合、NAPA を起動できない。
- ・ napalicenserequest.txt が Pr フォルダに既に存在する場合、既存のファイルの最後に新たな行が追加される。ライセンスリクエストファイルを弊社に送付する際には、**不要な行を削除**してから送付して下さい。
- ・ 複数のライセンスリクエストファイルは、各ファイルの 2 行目以降をコピーすることで 1 つのファイルにまとめることが可能。(1 行目はタイトル行)

従来の NAPA

※ 以下の場合は不要です。

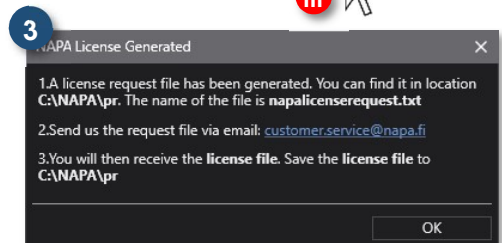
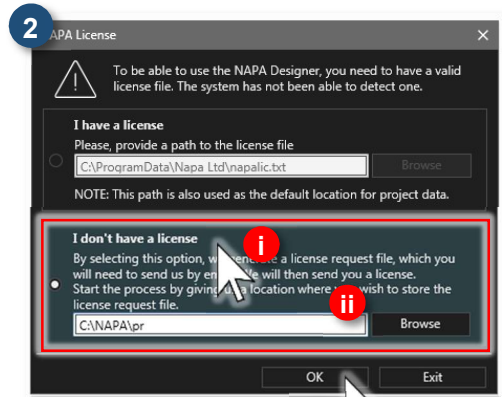
- NAPA Designer でライセンスファイルを取得・保存済みの場合
- 対象のパソコンで有効なライセンスファイルがある場合

No.	作業手順	
1	従来の NAPA の起動用ショートカットをクリックする	
2	System Message ライセンスファイル(napalic.txt)が見つからない(②)、またはライセンスファイルに当該パソコンの Machine ID が見つからない(②')旨のメッセージが出るので、「OK」をクリック。	  
3	License request custom message 入力フィールドに任意のメモを記載し、「OK」をクリック 注) 英字のみ入力可能	
4	生成されたライセンスリクエストファイル (napalicenserequest.txt)を弊社カスタマーサービスまで送付。 → 弊社より、折り返しライセンスファイルをお送りします 注) ライセンスリクエストファイルは Pr フォルダ*1に生成される。②のダイアログにも表示されている。	
5	弊社より受領したライセンスファイルの ファイル名を「napalic.txt」に変更後 、Pr フォルダ*1に保存	

*1 Pr フォルダはスタンドアロン機のインストールパスやクライアント機の「Server file の場所」の下にある。(デフォルトでは「C:\NAPA\Pr」)

NAPA Designer


No.	作業手順
ライセンスファイルの入手と保存	
以下の場合には不要 <ul style="list-style-type: none"> ● 従来の NAPA で実施済みの場合 ● 対象のパソコンで有効なライセンスファイルがある場合 	
1	NAPA Designer の起動用ショートカットをクリックする
2	NAPA License ライセンスファイル(napalic.txt)が見つからない旨のメッセージが出るので、以下の手順でライセンスリクエストファイル(napalicenserequest.txt)を生成する。 <ol style="list-style-type: none"> 「I don't have a license」をクリック ライセンスリクエストファイルの生成先のパスを入力(ネットワークドライブも指定可能)*1 「OK」をクリック
3	NAPA License Generated ライセンスリクエストファイルの生成先のパスを確認し、「OK」をクリック
4	②で指定した場所に生成されたライセンスリクエストファイル(napalicenserequest.txt)を弊社カスタマーサービスまで送付。 → 弊社より、折り返しライセンスファイルをお送りします
5	弊社より受領したライセンスファイルの ファイル名を「napalic.txt」に変更後 、Pr フォルダに保存。
ライセンスファイルの有効化	
以下の場合には不要 <ul style="list-style-type: none"> ● 「ライセンスファイルの入手と保存」を NAPA Designer 上で実施した場合 ● 以前のリリース等で Pr フォルダが既に登録済みの場合 	
6	NAPA Designer の起動用ショートカットをクリックする
7	NAPA License ダイアログで「I have a license」をクリックしてライセンスファイルの場所*1を指定した後、「OK」をクリック。 ※ ライセンスリクエストファイル生成時に、生成先のパスを指定済みであれば、本ステップは不要




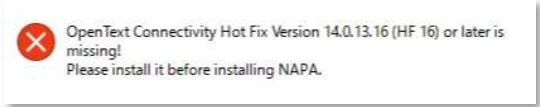
*1 本ダイアログにて入力されたパスが **Pr フォルダ(ライセンスや SYSDB の保存場所)**として自動的に登録される。

付録 インストールと起動に関するトラブルシューティング

(a) Exceed

No.	症状	原因の可能性・対処法
1	<p>以下のパッチをインストールしようとする、 「This machine is up to date. (インストール済み)」と表示されて「Install」ボタンをクリックできない。</p> <ul style="list-style-type: none"> Exceed 14 Service pack 13 Exceed Hotfix 	<p>原因の可能性 アカウント名に日本語などが含まれており、App_Data のパスにも日本語が含まれている。 ※以下の■■■の部分にアカウント名が使われる。 C:\¥users¥■■■¥AppData</p> <p>対処法 対照法 1：英語アカウントに変更する。 対処法 2： 対処法 1 が採用できない場合、以下の手順で仮のアカウントを作成してインストールする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 英字だけを含む別のアカウントを作成 Exceed 14 Service pack 13, Hotfix をインストール 1 で作成した英語アカウントを削除

(b) NAPA

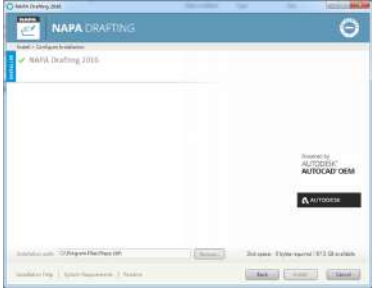

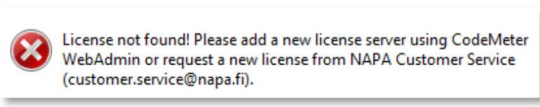
	症状	原因の可能性・対処法
	<p>インストーラを起動しようすると以下のメッセージが現れる</p> 	<p>原因の可能性 インストーラが正常にダウンロード出来ていない。 (NAPAnet に記載のサイズよりもインストーラのファイルサイズが小さい場合はこの原因に該当します)</p> <p>対処法 再度インストーラをダウンロードして下さい。</p>
	<p>NAPA 上でクリップボードが使えない。 マウスホイールによるスクロールが使えない</p>	<p>Exceed の設定がされていない。</p>
		<p>SP や Hotfix がインストールされていない。</p>


症状	原因の可能性・対処法
<p>9.8. NAPA crashes in starting If a sudden crash takes place when starting NAPA, please check that none of the following files and directories are defined as Read-only in Windows: Napa directory</p> <p>PR directory Sysdb.db file</p> <p>It is necessary that the system database (sysdb.db) is available and that full permissions (read + write) are given to this file when NAPA is starting up. Please check that the Napa directory is shared in Windows and that full permissions are given to the directory. The default permissions when sharing a directory in Windows XP are only Read and that is not sufficient. Please read section network_config for more information about sharing.</p>	
<p>Exceed が立ち上がって NAPA のロゴまで表示されるが、ログイン画面が表示されない</p>	<p>原因の可能性 ライセンスファイルに記載されているパスの SYSDB が存在しない。 (Floating 形式のライセンスの場合、ライセンスファイルに記載されているパスの SYSDB が存在しないと起動できません。)</p> <p>対処法 ライセンスファイルに記載されているパスに SYSDB を保存する。</p>

(c) NAPA Designer

症状	原因の可能性・対処法
<p>各種操作中に動作が不安定になる</p>	<p>動作確認中に問題が生じる場合、別のグラフィック処理機能を使用することによって改善する可能性があります。詳しくは別紙3を参照下さい。</p>
	<p>「ライセンスファイルに記載されている SYSDB のパス」と「本方法で指定する SYSDB のパス」が異なる場合、NAPA を起動できない。</p>

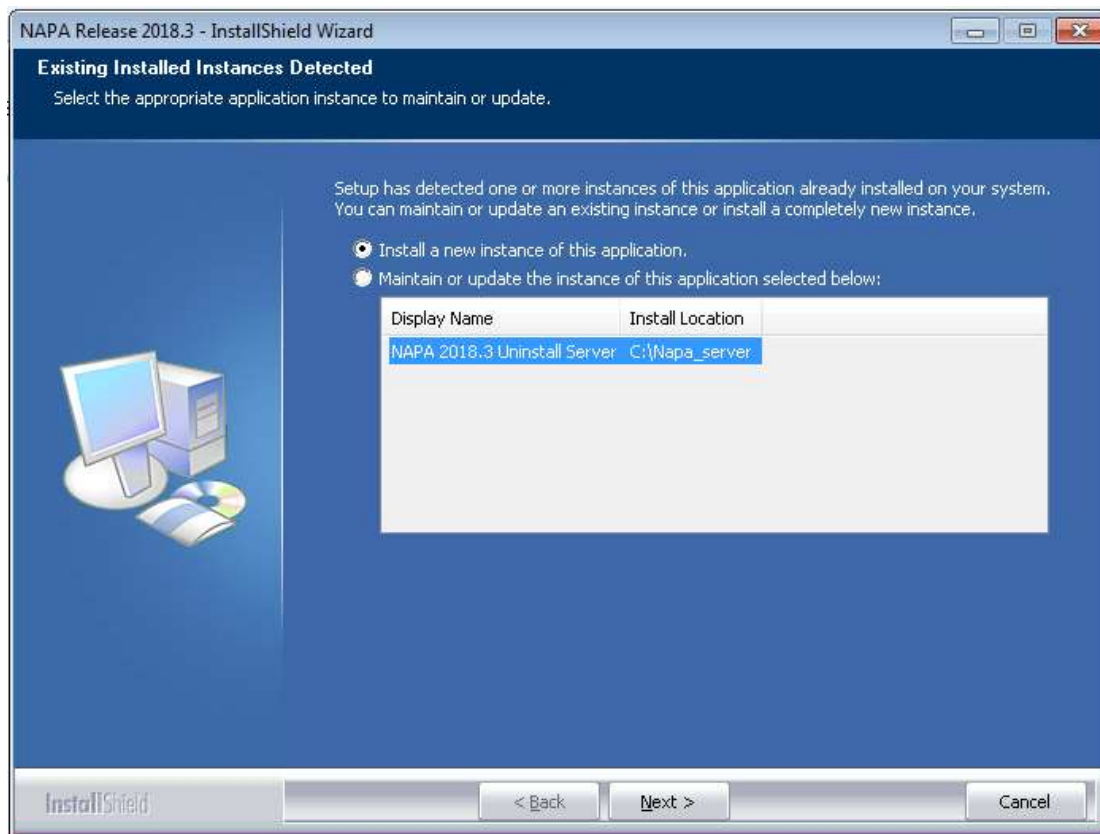
(d) NAPA Drafting

	<p style="text-align: center;">症状</p>	<p style="text-align: center;">原因の可能性・対処法</p>
<p style="background-color: red; color: white; padding: 2px;">インストールできない</p> 	<p>原因の可能性 既にNAPA Draftingがインストールされている。(NAPA Draftingは、従来のNAPAやNAPA Designerのような複数のリリースの共存は不可。)</p> <p>対処法 インストールされている以下のソフトウェアをアンインストールした後、インストールをやり直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NAPA Drafting • NAPA Drawing Service <p style="background-color: cyan; padding: 2px;">Drawing Serviceが残っている場合がある。その場合は手動削除。</p>	
<p>Drawing Service がプログラム一覧に無く、アンインストール出来ない</p>	<p>フォルダごと削除</p>	
<p>Even though he uninstalled 2018.1 from the PC, the installer of 2018.2 says "NAPA Drafting 2018.1 is installed".</p>	<p>レジストリーキーを削除する</p> 	
<p>インストールファイル解凍時にエラー“64bit installer required.” が現れる。</p>	<p>原因の可能性 インストールファイルが解凍できない</p> <p>対処法 7-Zip(※)を使って解凍をお試しください。 (※)圧縮・解凍ソフト 7-Zip は、さまざまなデータフォーマットに対応している世界的に標準なフリーソフトウェアです</p>	
<p>「License not found!」のエラーメッセージによりNAPA Drafting が起動できない。</p> 	<p>原因の可能性</p> <ol style="list-style-type: none"> ① NAPA Drafting のライセンスが無い、又は有効化されていない。 ② (Floating License の場合) サーバー機ではなく、誤ってクライアント機でチケットを有効化してしまっている <p>対処法</p> <p>①の場合:</p> <p>②の場合: 間違ってクライアントでチケットを有効化してない?</p>	
<p>「Expire soon」のメッセージが出る</p>	<p>もう少しで切れる、というメッセージ</p>	

	症状	原因の可能性・対処法
	<p>ライセンスを無効化(Re-host)しようとする、「The CmContainer with serial ***-***** was not found. 」というメッセージが出る。</p> 	<p>チケットが他のパソコンから有効化されている。 ↓ 正しいパソコンで作業する必要あり</p>
	<p>Exit Code 9321</p> <p>error code 9321 is a generic failed to start</p> <p>Makoto Haruyama: One customer has a problem that he cannot connect to project data b...</p>	<p>SYSDB が正しく登録されていない時にも出る。 ただし、これだけが原因ではないかも。</p>

その他の記述ネタ

- リホストの方法
- NAPA Drafting が起動できないときの確認方法
- サーバー兼クライアントで使う方法
 - 自分のフォルダをネットワークドライブに割り当てる？ Windows 上はできることは確認した。
(ネットワークドライブに割り当てて、出来た。
しかし、岡野さんによるとドライブ割り当てを行わ無くてもできる。⇒確認済み)
 - Install a new instance？



- Run Registry の削除、確認の方法
(記録するという設定も必要！ →**参照)

